# 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 1 7 日現在

機関番号: 34315

研究種目: 基盤研究(A)(一般)

研究期間: 2019~2023

課題番号: 19H00580

研究課題名(和文)現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向:過激派と対峙する主流派

研究課題名(英文)Resurgent Islamic Jurisprudence and New Trends in Politics and Economics in Contemporary Islam: The Main Stream Confronting the Extreme

#### 研究代表者

小杉 泰 (Kosugi, Yasushi)

立命館大学・立命館アジア・日本研究機構・教授

研究者番号:50170254

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 29,400,000円

研究成果の概要(和文):本研究は、イスラーム諸国でイスラーム法(シャリーア)の基盤たる法源学(法典拠解釈の方法論)が復権している意義を研究した。日本では未解明であったイスラーム法源学を体系的に整理し、イスラームにおける「法解釈」のあり方を明らかにした。また、それと比べた過激派の法解釈の恣意性を解明し、この問題を実証的に論じるために、政治と暴力・イスラーム経済・ハラール食品産業・性倫理と服装規定、について調査・考察をおこなった。政治に限らず、経済・社会生活、私的領域の分野での法解釈の論争を、中東、南アジア、東南アジアの各地域の事例研究と地域間比較を通じて考察した。今後も成果の公刊および国際発信を継続したい。

研究成果の学術的意義や社会的意義 イスラーム世界は世界人口の4分の1を占め、その実態を解明することは日本と国際社会にとって大きな課題となっている。本研究は、現代のイスラーム復興の中核をなす「イスラーム法源学」の復権を、この学問の体系的な解析と合わせて考究し、イスラームに関する新しい知見を蓄積した。穏健派と過激派の対立についても、単に政治的な問題ではなく、イスラームの法典拠の解釈と方法論上の対立があり、主流法学派の方法論が復権することが過激派抑制にも役立つことを解明した。それによって、イスラーム世界の固有性を理解する補助線を新しく設定できたことは大きな成果であり、「イスラーム法源学」の活用による研究推進をさらに提起していきたい。

研究成果の概要(英文): This study investigated the significance of restoring Islamic jurisprudence (Usul al-Fiqh, or methodology of interpreting the fundamental legal sources) as the foundational knowledge of Islamic law (Shari'ah) in contemporary Islamic countries. We have systematically analyzed Usul al-Fiqh, largely unexplored in Japan so far, and clarified many aspects of the nature of "legal interpretation" in Islamic law. In order to elucidate the arbitrariness of the extremists' legal interpretation and to empirically discuss actual cases, we surveyed and discussed elaborately, politics and violence, the Islamic economy, the halal food industry, and sexual ethics. We have examined disputes over legal interpretation in politics, economy, social life, and the private sphere through case studies in the Middle East, South Asia, and Southeast Asia and through cross-regional comparisons. We continue to publish and disseminate our findings internationally.

研究分野: 比較政治学、地域研究、イスラーム研究

キーワード: イスラーム法源学 イスラーム思想史の現在 主流法学派の解釈方法論 サラフィー主義 軍事の世俗 化とジハード主義 ポスト資本主義とイスラーム経済 性倫理と服装規定をめぐる論争 ハラール経済 産業の拡大

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

### 1.研究開始当初の背景

20世紀後半からのイスラーム復興期を経た今日のイスラーム世界は、「穏健な草の根の復興」と「過激派の伸張」が同時に進行する時代を迎えており、今後、中道派・穏健派が過激派を制することができるか否かが、イスラーム世界だけでなく国際社会全体にとっての関心事となっている。穏健派が主流派を形成している国々を調査すると、イスラーム法(シャリーア)の基礎をなす法源学(法解釈の理論と方法)が強い伝統を持ち、民衆に対する法学者の影響力が復権していることがわかる。一方、過激派とは、法源学を無視して恣意的な解釈を乱発する諸集団である。穏健派と過激派の違いは暴力の是非であると考えるのは至極当然であるが、本プロジェクトでは、両者を分かつのは、実はより日常的な分野での論点であり、両者による支持者の奪い合いもこの「日常性についての解釈」を軸にしていると考える。

そこで本研究はこの仮説に基づき、これまで我が国で看過されてきたイスラーム法源学を体系的に整理したうえで、法源学を軸とする主流(穏健)派と過激派の対立を分析する。一般信徒に関わりの深い「日常性」を巡る争点を取り上げて分析することで、イスラーム法の固有の論理について新しい側面を解明し、さらに、現代社会の懸案となっている諸問題や跋扈する過激派の実態の分析に対しても新しい光を当てる。

地域研究や国際関係学では、21 世紀に入ってからの過激派の隆盛によって、中東などにおける紛争やテロが深刻な問題となっている。2001 年の9・11 事件とアルカイダ系過激組織の拡散、2003 年のイラク戦争以後の宗派(スンナ派・シーア派)対立、2014~17 年のIS(「イスラーム国」)の「建国」と跋扈、これらと連動する欧米におけるテロ事件多発などは記憶に新しい。これらに対して、欧米諸国のみならずイスラーム諸国でも、テロ問題や暴力問題を「安全保障」と「治安対策」の一環と見なす傾向があり、イスラームの思想と政治・経済・社会の実態に踏み込んだ研究は乏しい。思想面の課題に対しての分析が弱い上に、いわゆる「テロ組織」の研究は、学術的な研究対象にすることが難しいため、それが研究の空白を生じせしめる一因となっている。

そうした行き詰まりを打開する鍵として、本研究では、「イスラーム法源学」というイスラーム法の歴史に根ざした学問体系に焦点を当て、「学問体系に依拠する法学者が社会的に活躍できるか、学問体系を無視する立場が優勢となって恣意的なイスラーム法の解釈が横行するかのどちらに傾くかが、穏健派と過激派の帰趨を分ける分水嶺となっている」という仮説をたて、これを核心的「問い」と位置づけ、実態の究明をおこなう。

法源学に立脚する穏健派の法学者たちは、イスラーム法の法源となる聖典クルアーンやスンナ(預言者ムハンマドが確立した慣行)を参照し、法源学の解釈方法論に立脚して解釈行為をおこない、14世紀間にわたる解釈行為の蓄積を尊重した上で、現実の社会の問題に対応して、法学上の見解を出す。結論は、その法学者の役割に応じて法学裁定(ファトワー)や法規定として社会に対して公表され、影響力を持つ。

これに対して、過激派の母体となるサラフィー主義は、法源学の方法や伝統を軽視する。サラフィー主義とは、「サラフ(初期世代)」に回帰すべきという主張を意味する。それは具体的には、聖典クルアーンとスンナ(慣行)に回帰するという主張になる。ここで重要なことは、そのような主張によって彼らが法源学の理論や解釈の方法論を無視し、7~9世紀に成立した典拠の字義的な解釈や恣意的な解釈を現代に当てはめるという点である。特に、20世紀末から21世紀にかけて、サラフィー主義の中に武装闘争を第一義的とする「ジハード主義者」が生まれ、彼らがイスラーム過激派の中核となり、深刻な問題が生じている。

本研究は、これらの問題の背景にある国際的かつ社会的な問題と、そのような問題の解決に寄与すべき学術の課題について、研究と考察をおこなうものである。

### 2.研究の目的

本研究は、イスラーム世界を理解する上で鍵となるイスラーム法とその根幹的な学問体系である法源学に着目し、現在のイスラーム諸国で法源学に依拠する主流(穏健)派と、それを無視する少数の過激派が対立している構造を解明することを目的とする。それによって、イスラーム世界の各地でイスラーム法が社会的な実効性を再獲得していることを明確にし、法解釈の実態の解明を通じて、穏健派と過激派の決定的な違いと対立がイスラーム地域の社会にとって死活的課題となっていることを実証する。

以上の目的に基づき、次の3つの論点を設定し、それに基づいて研究を進める。これらの論点は後述の4つの重点分野の選択にも結びついている。

(1)過去半世紀にわたるイスラーム復興の結果、イスラーム世界の各地でイスラーム法が社会的な実効性を持つものとなり、現在のイスラーム法源学の復権とそれを専門とする法学者たちの復権を生み出している。したがって、イスラーム法を理解し、イスラーム復興の実態を解明するうえで、法源学を把握することは決定的に重要である。

(2)18~21世紀に広がったイスラーム思想のサラフィー主義は、伝統派に対するクリティーク(批判)としての意義を持った。しかし、サラフィー主義は固有の法学を樹立することに失敗し、

法解釈において字義的解釈や恣意的解釈に終始している。その帰結の一つとして、20 世紀末以降は過激派のジハード主義が生まれた。

(3) イスラーム法が復興している現場は、制定法の分野というよりも、広範な私的領域や社会生活の分野であり、そこで法学の解釈も争われている。イスラーム法が統治や政治の分野に再浸透するのは人々の生活に関わる分野で影響力を強めるからであり、そこが主流派と過激派が対立・競合するアリーナとなっている。

#### 3.研究の方法

総合的な地域研究の視座に立ち、理論研究、原典研究、臨地研究(フィールドワーク)を結合する方法論を用いる。原典研究では、特に法源学に関わるアラビア語文献を重視する。研究会では、事例と地域間の比較、事例に基づく帰納的な一般化などを重視して、討議と検討をおこなう。また、これら原典・臨地研究・事例研究から抽出したデータを集約した「イスラーム法源学データベース」を構築して討議・検討作業の際のツールとする。

国際研究協力では、英国ダラム大学、マレーシア国民大学、インドネシア国立イスラーム大学、 ヨルダンの世界イスラーム学大学などとの協力を進める。

#### 4.研究成果

本研究は、イスラーム諸国でイスラーム法(シャリーア)の基盤たる法源学(法典拠解釈の方法論)が復権している意義を研究した。日本では未解明であったイスラーム法源学を体系的に整理し、イスラームにおける「法解釈」のあり方を明らかにした。また、それと比べた過激派の法解釈の恣意性を解明し、この問題を実証的に論じるために、政治と暴力・イスラーム経済・ハラール食品産業・性倫理と服装規定、について調査・考察をおこなった。政治に限らず、経済・社会生活、私的領域の分野での法解釈の論争を、中東、南アジア、東南アジアの各地域の事例研究と地域間比較を通じて考察した。

研究成果の 1 つとして、イスラーム法の実効性を担保する上で非常に大きな役割を果たしている「法規定の5範疇」が西暦 10~12 世紀の間に、法源学によってきわめて明確かつ体系的に定式化されたことを発見した。「5 範疇」の定式化が現代においてイスラーム復興に大きく貢献しているも明らかで、これは学術的にも重要な発見と言える。この新知見について、さらに国際的に発信する準備を進めている。

その他の成果についても、すでに、研究期間中に、国内外での学術誌で論文掲載、国内外での学会での報告、一般向け及び学術的な市販書での執筆担当などによって公表してきたが、今後も、国内外での学術誌への投稿、本プロジェクトの成果を編纂した学術的な市販書の刊行などをおこなっていく。

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計61件(うち査読付論文 22件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 22件)

1 . 著者名	4.巻
小杉泰	17
2.論文標題	5 . 発行年
「イスラーム法源学の展開とシャリーアの体系化:マカースィド(法の目的)の機能と意義を中心に」	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『イスラーム世界研究』	191-211
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
Suechika Kota	13
2.論文標題 Measuring 'state-diffusion' in post-conflict authoritarian Syria evidence from the 2021 public opinion survey	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Mediterranean Politics	1-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/13629395.2023.2291957	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
Kota Suechika (ed.)	20
2.論文標題	5 . 発行年
"Special Feature: Revisiting Islam and Politics in Egypt's 'New Republic'"	2024年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies	1-96
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
. ***	4 24
1 . 著者名	4.巻
末近浩太・山尾大	25
2 . 論文標題	5 . 発行年
「紛争後の非リベラルな国家建設を市民はどのように認識するのか:2021年シリア世論調査結果の分析から」	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
『日本比較政治学会年報』	53-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

4	
1.著者名	4 . 巻
山根聡	97
2.論文標題	5.発行年
「2023年のパキスタン:選挙をめぐる社会の混乱」	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『国際情勢』	197-206
	107 200
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	I 4 344
1 . 著者名	4 . 巻
So YAMANE	58
2.論文標題	5.発行年
"On the Idea of Symbiosis in the Poetry of Bulleh Shah, an 18th Century Punjabi Sufi Poet"	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Orient	91-102
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.5356/orient.58.91	有
10.3330/0116111.30.91	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1. 著者名	4 . 巻
森伸生	20
2.論文標題	5 . 発行年
「クルアーン解釈 28章1節 43節」	2024年
	2024-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
『シャリーア研究』	177-226
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
物製舗又のDDOT(デンタルオプシェクト試別士) なし	直硫の行無   無
'& U	<del></del>
オープンアクセス	国際共著
	1
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- - 1 4 #
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 20
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 森伸生	20
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題	5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 森伸生	20
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題	5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 「イスラームにおける心の病と治療」	5.発行年 2024年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 「イスラームにおける心の病と治療」  3 . 雑誌名	20 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 「イスラームにおける心の病と治療」  3 . 雑誌名 『シャリーア研究』	20 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁 33-64
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 「イスラームにおける心の病と治療」  3 . 雑誌名 『シャリーア研究』  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	20 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁 33-64 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 「イスラームにおける心の病と治療」  3 . 雑誌名 『シャリーア研究』	20 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁 33-64
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 森伸生         2 . 論文標題 「イスラームにおける心の病と治療」         3 . 雑誌名 『シャリーア研究』         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	20 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁 33-64 査読の有無

1 . 著名名		
2 - 論文を題 「イスラーム・ジェンダー・スタディーズ: 労働の理念と明実。  3 - 編誌名 "イスラーム・ジェンダー・スタディーズ: 労働の理念と明実。  4 - 最談の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 - 素者名 小杉泰 2 - 論文機理 法派学保護のもう1つの道: ハナフィー法学派における「法学原則」の形成と「法規定の7範疇」  3 - 補誌名 イスラーム世界研究  6 - 最初と最後の頁 96-116  1 - 著者名 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 - 著名名 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	長岡慎介	_
イスラーム銀行の実践からみた労働理念と女性   2024年   3 . 雑誌名   6 . 最初と厳俊の頁 76-88   6 . 最初と厳俊の頁 76-88   7 . 表記の 7 . スタディーズ: 労働の理念と現実。   6 . 最初と厳俊の頁 76-88   7 . 表記の 7 . スタディーズ: 労働の理念と現実。   6 . 最初と厳俊の頁 76-88   7 . 表記の 7 . スタディーズ: 労働の理念と現実。   5 . 飛行年 2023年   7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7 . 7		8
「イスラーム銀行の実践からみた労働理念と女性」  3. 雑誌名 "イスラーム・ジェンダー・スタディーズ:労働の理念と現実。 「機翻論文のDOOI(デジタルオブジェクト選別子) 1. 著者名 小杉泰 2. 論文機題 イスラーム世界研究 3. 神話名 イスラーム世界研究 「6. 最初と最後の頁 96-115 「7. 機能なのDOOI(デジタルオブジェクト選別子) 1. 著者名 イスラーム世界研究 「7. カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 「8. 最端の有無 イスラフの登録。後のリビアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から 「8. 現存権 「アフブクセス 「7. 機能なのDOOI(デジタルオブジェクト選別子) 「1. 著名名 イスランの登録。 「7. 現所を 「7. カーブンアクセスとしている(また、その予定である) 「8. 機能なのDOOI(デジタルオブジェクト選別子) 「1. 者名名 イスランの登録。 「7. 現所を 「7. 現所を 「7. 現所を 「7. スープンアクセスとしている(また、その予定である) 「8. 機能なのDOOI(デジタルオブジェクト選別子) 「1. 著名名 イスラーム単係が高端の高外。8. 1.		
3 ・解誌名	2 . 論文標題	5.発行年
3 ・解誌名	「イスラーム銀行の実践からみた労働理念と女性」	2024年
#報論文のDDI (デジタルオブジェクト議別子) 直流の有無 無		
#報論文のDDI (デジタルオブジェクト議別子) 直流の有無 無	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
表載論文のDDI (デジタルオブジェクト選別子)		
### (1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	"1スラーム・ジェンター・スタティース:労働の理念と現実』	76-88
### (1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -		
### (1 - プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
1 - 著名名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 - 著名名	なし	無
1. 著者名		
1. 著者名	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名		
小杉春     16       2. 論文標題 法源学構築のもう1つの道: ハナフィー法学派における「法学原則」の形成と「法規定の7範疇」     5. 発行年 2023年       3. 雑誌名 イスラーム世界研究     6. 最初と最後の頁 86-115       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/282872     重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       1. 著名名 未近浩太・山尾大     4. 巻 38- 2. 論文種題 「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から     5. 発行年 2022年       3. 雑誌名 日本中東学会年報     6. 最初と最後の頁 1-30       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajanes.38.1_1     重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       1. 著名名 干坂知世・山尾大・未近浩太     4. 巻 64(1)       2. 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から     5. 発行年 2022年       3. 雑誌名 アジア経済     6. 最初と最後の頁 2.26       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2     5. 発行年 2022年       3. 雑誌名 アジア経済     6. 最初と最後の頁 2.26       掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2     重読の有無 有       オープンアクセス     国際共著	カープラブで入てはない、人はカープラブラで入り四条	
小杉春     16       2. 論文標題 法源学構築のもう1つの道:ハナフィー法学派における「法学原則」の形成と「法規定の7範疇」     5. 発行年 2023年       3. 雑誌名 イスラーム世界研究     6. 最初と最後の頁 98-115       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/282872     置読の有無 4. 巻 38-       1. 著者名 末近浩太・山尾太     4. 巻 38-       2. 論文標題 「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から     5. 発行年 2022年       3. 雑誌名 日本中東学会年報     6. 最初と最後の頁 1-30       掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.24499/ajames.38.1_1     重読の有無 有       オープンアクセス オープンアクセス     4. 巻 64(1)       1. 著者名 干坂知世・山尾大・米近浩太     4. 巻 64(1)       2. 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から     5. 発行年 2022年       3. 雑誌名 アジア経済     6. 最初と最後の頁 2.26       3. 雑誌名 アジア経済     6. 最初と最後の頁 2.26       3. 雑誌名 70.24765/aj iakeizai.64.1_2     看       4 巻 6-1,024765/aj iakeizai.64.1_2     面際共著	4 ***	1 4 44
2 論文標題		_
注意学構築のもう1つの道: ハナフィー法学派における「法学原則」の形成と「法規定の7範疇」	小杉泰	16
注意学構築のもう1つの道: ハナフィー法学派における「法学原則」の形成と「法規定の7範疇」		
注意学構築のもう1つの道: ハナフィー法学派における「法学原則」の形成と「法規定の7範疇」	2.論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 イスラーム世界研究 6 . 最初と最後の頁 96-115	·····	
#a #	仏脈・中角末の15  200년・ハ5  21  21  11  30  20  20  20  20  20  20  20  20  20	20234
#a 報論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.14989/282872	3 think 47	( 目知は見後の五
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/282872  オーブンアクセス  オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著書名 未近浩木・山尾大 2 . 論文標題 「アラブの春」後のリピアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から 3 . 雑誌名 日本中東学会年報  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajanes.38.1_1  1 . 著書名 - 大一ブンアクセス  1 . 著書名 - 大の予定である)  2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から 2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から 3 . 雑誌名 アジア経済  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年  7 . 2022年  3 . 雑誌名 アジア経済  4 . 巻 64(7)	** *** *	
10.14989/282872 有	イスラーム世界研究	96-115
10.14989/282872 有		
10.14989/282872 有		
10.14989/282872 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 未近浩太・山尾大 2 . 論文標題 「アラブの春」後のリピアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から 3 . 雑誌名 日本中東学会年報  4 . 巻 2 . 語の有無 1 . 300  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10 . 24498/a james. 38 . 1  1 . 著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太  2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から  3 . 雑誌名 アジア経済  6 . 最初と最後の頁 1 - 30  1 . 著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年  6 . 最初と最後の頁 7 . 3 . 雑誌名 日本中東学会年級  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年  1 . 3 . 雑誌名 アジア経済  6 . 最初と最後の頁 2 . 3 . 雑誌名 アジア経済  5 . 発行年 2022年 2026年  1 . 2 . 3 . 2 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3 . 3		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       4.巻         1. 著者名       38-         末近浩太・山尾大       5.発行年         2.論文標題「アラブの春」後のリピアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から       5.発行年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         日本中東学会年報       1.30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.24498/a janes.38.1_1       有         オープンアクセス       国際共著         1. 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4.巻         2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から       5.発行年 2022年         3.雑誌名 アジア経済       6.最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/a ji ake izai .64.1_2       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	10.14303/202012	P
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       4.巻         1. 著者名       38-         末近浩太・山尾大       5.発行年         2.論文標題「アラブの春」後のリピアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から       5.発行年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         日本中東学会年報       1.30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.24498/a janes.38.1_1       有         オープンアクセス       国際共著         1. 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4.巻         2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から       5.発行年 2022年         3.雑誌名 アジア経済       6.最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/a ji ake izai .64.1_2       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	ナープンファナフ	
1. 著者名 未近浩太・山尾大       4. 巻 38-         2. 論文標題 「アラブの春」後のリピアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 日本中東学会年報       6. 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/a james. 38.1_1       重読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1. 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4. 巻 64(1)         2. 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から       5. 発行年 2022年         3. 雑誌名 アジア経済       6. 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/a ji akei zai .64.1_2       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	· · · · · = · ·	国际共有
末近浩太・山尾大       38-         2 . 論文標題 「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 日本中東学会年報       6 . 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames. 38. 1_1       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 64(1)         1 . 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4 . 巻 64(1)         2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai .64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
末近浩太・山尾大       38-         2 . 論文標題 「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 日本中東学会年報       6 . 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames. 38. 1_1       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 64(1)         1 . 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4 . 巻 64(1)         2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai .64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著		
2 . 論文標題 「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 日本中東学会年報       6 . 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著 64(1)         1 . 著者名 干坂知世・山尾大・未近浩太       4 . 巻 64(1)         2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著	1.著者名	4.巻
2 . 論文標題 「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化: 2019年実施の世論調査の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 日本中東学会年報       6 . 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著 64(1)         1 . 著者名 干坂知世・山尾大・未近浩太       4 . 巻 64(1)         2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著	未近浩太・山尾大	38-
「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から       2022年         3 . 雑誌名 日本中東学会年報       6 . 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 イプンアクセスとしている(また、その予定である)         1 . 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4 . 巻 64(1)         2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai .64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著		
「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化:2019年実施の世論調査の結果から       2022年         3 . 雑誌名 日本中東学会年報       6 . 最初と最後の頁 1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 イプンアクセスとしている(また、その予定である)         1 . 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太       4 . 巻 64(1)         2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai .64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著	2 論文趣明	5 発行任
3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         日本中東学会年報       1-30         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.24498/ajames.38.1_1       国際共著         オープンアクセス       国際共著         1. 著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太       4 . 巻 64(1)         2. 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から       5 . 発行年 2022年         3 . 雑誌名 アジア経済       6 . 最初と最後の頁 2-26         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai .64.1_2       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著		
日本中東学会年報 1-30	・アフノの骨」後のサビアにのける国家再建と氏土化、2019年美旭の世調調査の結果から	2022年
日本中東学会年報 1-30		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1		6 PM - T
10.24498/ajames.38.1_1有オープンアクセス国際共著1.著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太4.巻 64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著		6.最初と最後の頁
10.24498/ajames.38.1_1有オープンアクセス国際共著1.著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太4.巻 64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
10.24498/ajames.38.1_1有オープンアクセス国際共著1.著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太4.巻 64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
10.24498/ajames.38.1_1有オープンアクセス国際共著1.著者名 千坂知世・山尾大・未近浩太4.巻 64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 <ul> <li>干坂知世・山尾大・末近浩太</li> </ul> 4 . 巻	日本中東学会年報	1-30
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 干坂知世・山尾大・末近浩太4 . 巻 64(1)2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から5 . 発行年 2022年3 . 雑誌名 アジア経済6 . 最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	1-30 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 干坂知世・山尾大・末近浩太4 . 巻 64(1)2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から5 . 発行年 2022年3 . 雑誌名 アジア経済6 . 最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	1-30 査読の有無
1 . 著者名 <ul> <li>千坂知世・山尾大・末近浩太</li> </ul> 4 . 巻 <ul> <li>64(1)</li> </ul> 2 . 論文標題 <ul> <li>イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から</li> </ul> 5 . 発行年 <ul> <li>2022年</li> </ul> 3 . 雑誌名 <ul> <li>アジア経済</li> <li>6 . 最初と最後の頁               <ul> <li>2-26</li> <li>精戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)                   <ul> <li>10.24765/aj iakeizai .64.1_2</li> <li>有</li> <li>オープンアクセス</li> <li>国際共著</li> <li>国際共著</li> <li>本・プンアクセス</li> <li>国際共著</li> <li>3 . 発行年</li></ul></li></ul></li></ul>	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1	1-30 査読の有無 有
千坂知世・山尾大・末近浩太64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1 オープンアクセス	1-30 査読の有無 有
千坂知世・山尾大・末近浩太64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1 オープンアクセス	1-30 査読の有無 有
千坂知世・山尾大・末近浩太64(1)2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1 オープンアクセス	1-30 査読の有無 有
2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から5.発行年 2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-30 査読の有無 有 国際共著
イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	1-30 査読の有無 有 国際共著 -
イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から2022年3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	1-30 査読の有無 有 国際共著 -
3.雑誌名 アジア経済6.最初と最後の頁 2-26掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1)
アジア経済2-26掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.24765/aj iakeizai.64.1_2査読の有無 有オープンアクセス国際共著	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年
アジア経済       2-26         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         10.24765/aj iakeizai.64.1_2       有         オープンアクセス       国際共著	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年
アジア経済       2-26         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         10.24765/aj iakeizai.64.1_2       有         オープンアクセス       国際共著	日本中東学会年報掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年 2022年
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.24765/aj iakeizai.64.1_2 有 オープンアクセス 国際共著	日本中東学会年報掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太2.論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識:2021年サーベイ実験の結果から	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年 2022年
10.24765/aj i ake i za i .64.1_2 有 オープンアクセス 国際共著	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.24765/aj i ake i za i .64.1_2       有         オープンアクセス       国際共著	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.24765/aj i ake i za i .64.1_2       有         オープンアクセス       国際共著	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス	1-30 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 64(1) 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	日本中東学会年報  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス	1-30 査読の有無 国際共著 -  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年  6 . 最初と最後の頁 2-26
	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太  2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から  3 . 雑誌名 アジア経済	1-30 査読の有無 国際共著 -  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年  6 . 最初と最後の頁 2-26  査読の有無
	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太  2 . 論文標題 イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識: 2021年サーベイ実験の結果から  3 . 雑誌名 アジア経済	1-30 査読の有無 国際共著 -  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年  6 . 最初と最後の頁 2-26  査読の有無
	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名	1-30 査読の有無 国際共著 -  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 2-26  査読の有無 有
	日本中東学会年報  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.38.1_1  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名	1-30 査読の有無 国際共著 -  4 . 巻 64(1)  5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 2-26  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Miichi Ken	24(1)
	- 74 (= 6-
2.論文標題	5.発行年
Indigenizing Islamism in Indonesia: Prosperous Justice Party's Approaches Towards	2023年
Traditionalist Muslims	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Politics, Religion & Ideology	120-133
Total Coo, noting for a laborogy	120 100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1080/21567689.2023.2190893	有
10.1000/2130/009.2023.2130093	H H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国际八省
オープンデアと人としている(また、この)がたてある)	-
1	1 <del>*</del>
1 . 著者名	4.巻
山根聡	93
2.論文標題	5.発行年
2022年パキスタンにおける政権交代と国民の分断	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際情勢紀要	143-154
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
-50	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
コーフファフェストはない、人はコーフファフェスが四世	-
1 . 著者名	4 . 巻
山根聡	27
2	F 25/2-7-
2.論文標題	5.発行年
地域研究から地域間研究、外国学研究へ	2023年
	6 Ph. P
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
EXORIENTE	1-27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
1 . 著者名	4 . 巻
未近浩太	545
<u> </u>	040
2 经分摊的	5.発行年
2.論文標題	
レバノン第20期国民議会選挙と「二大政党体制」の動揺	2022年
0. 1844.0	C 8771877
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
中東研究	86-100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4.巻
未近浩太	21(7)
	, ,
2. 公办福店	F 婺仁左
2 . 論文標題	5.発行年
変化の兆しを見せるレバノンの政治と経済:イスラエルとの海洋境界合意を中心に	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
中東動向分析	1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
& O	<del>////</del>
	C Oby 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
1 节44	4 . 巻
1 . 著者名	
末近浩太	1
2.論文標題	5.発行年
	· ·
<総説>シリアという国	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
アジア・日本研究Webマガジン『アジア・マップ』	-
	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<del>~~~</del>
+ -10-7-12-1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 <del>**</del> ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	4 . 巻
1 . 著者名	_
森伸生	15
2.論文標題	5.発行年
イスラーム法的解釈と現実的対応	2022年
1 人プーム法的解析と現実的対心	2022#
고 사라 ★ ク	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3 ・ 雑誌台 平和のための宗教	6. 最初と最後の貝 106-121
平和のための宗教	106-121
平和のための宗教	106-121
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	106-121 査読の有無
平和のための宗教 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	106-121 査読の有無 無
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	106-121 査読の有無
平和のための宗教 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	106-121 査読の有無 無
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	106-121 査読の有無 無
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	106-121 査読の有無 無 国際共著
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	106-121 査読の有無 無 国際共著 -
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	106-121 査読の有無 無 国際共著
平和のための宗教 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 森伸生	106-121 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19
平和のための宗教 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 森伸生	106-121 査読の有無 無 国際共著 -
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生 2 . 論文標題	106-121 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 19
平和のための宗教 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 森伸生	106-121 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19
平和のための宗教  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年
平和のための宗教 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生 2 . 論文標題	106-121 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 19
平和のための宗教  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節  3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年
平和のための宗教  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
平和のための宗教  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節  3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
平和のための宗教  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節  3 . 雑誌名 シャリーア研究	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140
平和のための宗教         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名森伸生         2.論文標題クルアーン解釈 25章25節 54節         3.雑誌名シャリーア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140 査読の有無
平和のための宗教  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森伸生  2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節  3 . 雑誌名 シャリーア研究	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140
平和のための宗教         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         はし         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 森伸生         2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節         3 . 雑誌名 シャリーア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140 査読の有無
平和のための宗教         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         1 . 著者名 森伸生         2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節         3 . 雑誌名 シャリーア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140 査読の有無 無
平和のための宗教         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         1 . 著者名 森伸生         2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節         3 . 雑誌名 シャリーア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140 査読の有無
平和のための宗教         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         1 . 著者名 森伸生         2 . 論文標題 クルアーン解釈 25章25節 54節         3 . 雑誌名 シャリーア研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 19 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 100-140 査読の有無 無

4 *************************************	, <del>,,,</del>
1. 著者名	4.巻
森伸生	19
0 *A-1#0F	5 7%/= fr
2. 論文標題	5.発行年
クルアーン解釈 26章69節 159節	2023年
0 1824 CT	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
シャリーア研究	191-222
相乗やデッシューニュング・デー・映画コン	本共の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ###	
1. 著者名	4.巻
森伸生	19
0 40-2-17-07	- 3v./
2 . 論文標題	5 . 発行年
ハンバル学派の特徴	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
シャリーア研究	27-54
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
***	
1 . 著者名	4.巻
小杉 泰	2
2.論文標題	5 . 発行年
イスラーム法(シャリーア)の構造的理解と現代イスラーム世界の政治・経済の新動向:イスラーム法源	2021年
学を手がかりとした解析視座の確立をめざして	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
立命館アジア・日本研究学術年報	66-77
相報会会のDOL / デックリー・デック カー **** ロー ****	本註の左便
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.34389/ritsumeikanasiajapan.0.2_66	無
+	同 <b>你</b> + *
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
小杉 泰	15
A A A LITTE	_ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
2. 論文標題	5.発行年
シャリーアの典拠における命令言辞の多様性とその法解釈 イスラーム法源学におけるテクスト解釈をめ	2022年
くである また ない こうしゅう こう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こう こうしゅう こう	6 8471.8%-7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
イスラーム世界研究	180-204
	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.14989/269333	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
3 7777 272 3 64.3 ( 6.6. ( 6.6. )	

1 . 著者名	4 . 巻
末近浩太	37-11
2 . 論文標題 レバノン・ヒズブッラーの「二正面抵抗」のフレーミング:ハサン・ナスルッラー書記長演説の計量テキ スト分析	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 日本中東学会年報	6.最初と最後の頁 31-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.37.2_31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
4	
1 . 著者名 末近浩太	4.巻 15
2.論文標題 中東政治研究におけるイスラーム主義の諸相 「方法論的セキュラリズム」を超えて	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 イスラーム世界研究	6.最初と最後の頁 205-221
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/269334	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
. ***	1
1 . 著者名 末近浩太	4.巻 9月号
2.論文標題 イスラーム主義とは何か:政治と宗教の関係を考える(連載「イスラーム主義を読む」(1))	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 治安フォーラム	6.最初と最後の頁 47-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 英北存	
1 . 著者名 末近浩太 	4 . 巻 10月号
2.論文標題 ジハード主義とは何か:宗教と暴力の関係を考える(連載「イスラーム主義を読む」(2))	5.発行年 2021年
3.雑誌名 治安フォーラム	6.最初と最後の頁 40-48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

. ++	
1.著者名	4 . 巻
未近浩太	10月号
2 经分摊的	5
2. 論文標題	5.発行年
「文明の衝突」の正体を見極める:「イスラム教徒によるテロ事件」の構造とは	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Voice	116-123
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
未近浩太	11月号
	.,,,,,
2.論文標題	5 . 発行年
グローバル・ジハードの虚実:脅威の正体を見極める(連載「イスラーム主義を読む」(3)	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
治安フォーラム	57-66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	無
	***
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英老夕	/ A 类
1 . 著者名	4 . 巻
So YAMANE	11
2.論文標題	5.発行年
Muslim Writers and Food in North India, 1850–1920: Nostalgia and Uneasiness	2021年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of South Asian Studies	11-32
	-
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.11384/ijsas.1007	無
ナーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
	4 . 巻
山根 聡	91
2 . 論文標題	5 . 発行年
2021年のパキスタンにおける対アフガニスタン外交の変化と中国の支援	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際情勢	155-165
     	   査読の有無
なし	<b>無</b>
*_ ポンマクヤフ	国際共革
<b>ナープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	

1.著者名 Shinsuke Nagaoka4.巻 152.論文標題 Potential of the Islamic Economy as a Post-capitalist Economic System5.発行性 2022年3.雑誌名 イスラーム世界研究6.最初さ 3-17	E
2.論文標題 Potential of the Islamic Economy as a Post-capitalist Economic System  3.雑誌名  6.最初	E
Potential of the Islamic Economy as a Post-capitalist Economic System 2022年 3.雑誌名 6.最初と	
Potential of the Islamic Economy as a Post-capitalist Economic System 2022年 3.雑誌名 6.最初と	± '
3.雑誌名 6.最初&	_
	1 E # 0 E
イスラーム世界研究 3-17	ニ最後の貝
	m
· ·	
10.14989/269323	有
ナーポンフタトフ	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ****	
1 . 著者名 4	
森 伸生 18	
2	<del>-</del>
2.論文標題 5.発行	F
イスラームにおける天使界考 - クルアーンとハディースに基づいて - 2022年	
	- 目後の王
	と最後の頁
シャリーア研究 27-61	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
なし	無
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 *************************************	
1 . 著者名 4	
森 伸生 18	
2 \$40-4-50	<del>-</del>
2.論文標題 5.発行 2000年	F
クルアーン解釈 第24章第1節 10節 2022年	
3.雑誌名 6.最初と	と最後の頁
	一取仮の貝
シャリーア研究 77-98	
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )   査読の有無	<del>П</del>
19単20世人の1001(ナンタルオングエグト部の1))	無無
40	***
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープラブで入てはない。 人はカープラブラで入り 四無	
1 . 著者名 4 . 巻	
1 . 者有名	
Manager	
2 . 論文標題 5 . 発行 <sup>4</sup>	<del>-</del>
	-
クルアーン解釈 第25章第1節 24節 2022年	
2 雄士夕	ト旱後の百
	と最後の頁
シャリーア研究 159-192	<u>'</u>
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   査読の有無	<u></u>
なし	無
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。	

1.著者名	4 . 巻
小杉 泰	14
2 全公共 福田	F 琴红生
2 . 論文標題 責任の体系としてのシャリーア イスラーム法源学による法規定の定式化と5範疇への収斂の構造	5.発行年 2021年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
イスラーム世界研究	179-208
コスクームビグドリカ	179-200
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.14989/262500	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
IKEHATA Fukiko and KOSUGI Yasushi	14
2.論文標題	5 . 発行年
Ijma in Islamic Law and Islamic Thought: Tradition, Contemporary Relevance, and Prospects	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
イスラーム世界研究	5-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.14989/262489	重読の有無
	5-1 0ty -1-1-1-1-
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
	_
1.著者名	4.巻
末近浩太	540号3巻
2.論文標題	5.発行年
内戦後最大の政治経済危機に直面するレバノン	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
中東研究	7-26
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カープラブラと人ではない、人はカープラブラとスが四無	
1 . 著者名	4 . 巻
未近浩太	66
2.論文標題	5.発行年
「アラブの春」から10年:イスラム主義はなぜ敗北したのか	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
外交	110-115
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
掲載論又のDUI(テンタルオフシェクト識別子) なし	貧読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
TO T	I

1 . 著者名	4 . 巻
山根、聡	91
2 给分伍旺	F 発行生
2. 論文標題	5.発行年
新型コロナ禍におけるパキスタン情勢から見えるもの	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際情勢	171-179
	171-179
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
山根 聡	1
2 \$4.	5 28/2/F
2 . 論文標題	5 . 発行年
18世紀パンジャープのスーフィー詩人ブッレー・シャー(Bulleh Shah)の詩に見られる共生	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
イスラームの多文化共生の知恵   周縁イスラーム世界のスーフィズムに着目して	49-61
・ハン ニックヘロハエッパの パッテ・ハン ユニュアッハ フェハムに自日して	
4月中かかかの2017 デックリーナーデックトー かりロフン	本芸の左位
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当际六名 -
シップングというにはない、人はコープンググと人が日本	
1.著者名	4 . 巻
Ken Miichi	110 (4)
2.論文標題	5 . 発行年
Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender	2020年
Related Issues	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Muslim World	589-604
	<u> </u>
10.1111/muwo.12367	有
10.1117/mdn0.12001	ה
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 英老石	<u>а ж</u>
1 . 著者名	4 . 巻
見市建	40
2.論文標題	5 . 発行年
インドネシア女性ウラマー会議(KUPI)『公式資料:過程と結果』解題と抄訳	2020年
フェコンノメ エフノミ   女戚(NOII)   ムエレ貝ティ゙・ 型任C 和木』	2020 <del>1</del>
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
アジア太平洋討究	121-143
× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	
	本芸の左仰
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	

1 . 著者名 長岡慎介	4 . 巻 2020年9月号
2 . 論文標題 フィンテックが可能にする新しいイスラーム型SMEファイナンス	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 商工金融	6.最初と最後の頁 62-65
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 森 伸生	<b>4</b> .巻 17
2 . 論文標題 クルアーン解釈 第22章巡礼章第58節 78節、第23章1節 11節	5.発行年 2021年
3 . 雑誌名 シャリーア研究	6.最初と最後の頁 167-204
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 森 伸生	4.巻 17
2 . 論文標題 タハーラ論考 - 多様なイスラーム法的解釈の存在意義	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 シャリーア研究	6.最初と最後の頁 29-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 小杉 泰	<b>4</b> .巻 13
2.論文標題 イスラームにおける「スンナ」の多義性とハディースとの相関性 - ハディース学および法源学から見た位 置づけ -	5 . 発行年 2020年
	6.最初と最後の頁 108-129
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/250329	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著

	1
│ 1 . 著者名	4.巻
未近浩太	10
2 . 論文標題	5 . 発行年
- こ・調べんがと - シリア紛争の「宗派化」:レバノン・ヒズブッラーの軍事介入の論理と実践	2019年
フリア約ずの・示派化」・レバナン・ピスノッノーの単争并入の論理と美政	20194
2 Abb 6	6 Php   P// 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
現代中東の宗派問題:政治対立の「宗派化」と「新冷戦」(シリーズ 転換期の国際政治10)	129-149
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
60	<del>~~</del>
 オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
末近浩太	167
	5.発行年
······	
ヒズブッラーとイラン:1980年代初頭の中東政治の構造変容	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
季刊アラブ	9-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし なし	無
	[=] Dby ++ ++-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
本近浩太	Vol.18, No.9
<b>不过</b> 后众	VOT. 10, NO. 3
2 . 論文標題	F 76/2-F
	5.発行年
レバノン:政治改革への一進一退	2020年
レバノン:政治改革への一進一退	2020年
	2020年 6.最初と最後の頁
レバノン: 政治改革への一進一退 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
レバノン:政治改革への一進一退	•
レバノン: 政治改革への一進一退 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
レバノン: 政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析	6.最初と最後の頁 27-34
レバノン: 政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無
レバノン:政治改革への一進一退 3.雑誌名 中東動向分析	6.最初と最後の頁 27-34
レバノン: 政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名         中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無
レバノン: 政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名         中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡         2.論文標題	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡         2.論文標題	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年
レバノン:政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 山根 聡  2.論文標題 2019年2月印バ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 90 5.発行年 2020年
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名         中東動向分析         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡         2.論文標題 2019年2月印パ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス         3.雑誌名	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
レバノン:政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 山根 聡  2.論文標題 2019年2月印バ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 90 5.発行年 2020年
レバノン:政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 山根 聡  2.論文標題 2019年2月印パ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
レバノン: 政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 山根 聡  2.論文標題 2019年2月印パ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス  3.雑誌名 紀要 国際情勢	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 115-121
レバノン:政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 115-121
レバノン: 政治改革への一進一退  3.雑誌名 中東動向分析  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 山根 聡  2.論文標題 2019年2月印パ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス  3.雑誌名 紀要 国際情勢	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 115-121
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡         2.論文標題 2019年2月印パ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス         3.雑誌名 紀要 国際情勢         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 115-121
レバノン:政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 115-121
レバノン: 政治改革への一進一退         3.雑誌名 中東動向分析         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 山根 聡         2.論文標題 2019年2月印パ対立からみたパキスタン情勢における軍と司法のバランス         3.雑誌名 紀要 国際情勢         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	6.最初と最後の頁 27-34 査読の有無 無 国際共著 4.巻 90 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 115-121

1、書名名 5	So YAMANE, Imran Akhtar  2 . 論文標題 Urdu Nathar ki Zumrabandi aur'Urdu Pan'ka Ja'iza (Lingual Categorization of Urdu Prose towa the Study of Urduness'(1775 to 1850)  3 . 雑誌名	3 5.発行年 ards 2020年
2 . 論文標題 Urdu Nathar ki Zunrabandi aur 'Urdu Pan' ka Ja' iza (Lingual Categorization of Urdu Prose towards the Study of Urduness' (1775 to 1850) 3 . 熱話名 外国語教育のフロンティア 科国教育のプロンティア Aフプンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 山根 聡、岩下阴裕ほか翰 2 . 論文標題 南アジア 3 . 雑誌名 現代地段学事典 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 山根 聡、岩下阴裕ほか翰 2 . 論文を開始。6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 Milichi Ken 2 . 論文序題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 4 . 各名 Milichi Ken 1 . 表名名 Milichi Ken	2.論文標題 Urdu Nathar ki Zumrabandi aur'Urdu Pan'ka Ja'iza (Lingual Categorization of Urdu Prose towa the Study of Urduness'(1775 to 1850) 3.雑誌名	5.発行年 ards 2020年
Urdu Nathar ki Zunrahandi aur 'Urdu Prose Itowards the Study of Urduness' (1775 to 1880)	Urdu Nathar ki Zumrabandi aur'Urdu Pan'ka Ja'iza (Lingual Categorization of Urdu Prose towa the Study of Urduness'(1775 to 1850) 3.雑誌名	ards 2020年
Urdu Nathar ki Zurnahandi aur 'Urdu Prose Itowards	Urdu Nathar ki Zumrabandi aur'Urdu Pan'ka Ja'iza (Lingual Categorization of Urdu Prose towa the Study of Urduness'(1775 to 1850) 3.雑誌名	ards 2020年
the Study of Urduness' (1775 to 1880)  外間請教育のフロンティア  掲載論文の001 (デジタルオブジェクト選別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 山根 W、岩下明裕ほか線  2. 論文権理 南アジア  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  5. 飛行年 2020年  3. 純諸名 現代性政学事典  6. 最初と最後の頁 634-635  現代性政学事典  7. 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 Nitch Ken  2. 意文権理 いせわか Suff and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Abok' rallies  3. 純話名 South East Asia Research  5. 集行年 2019年  225-237  月報論文の001 (デジタルオプジェクト選別子) は 日本の 1 年間 1 年	the Study of Urduness'(1775 to 1850) 3.雑誌名	·
3. 納試名	3 . 雑誌名	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		6 最初と最後の百
機能論文の001(デジタルオブジェクト機別子)なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著名名 山機、駅、岩下開地目か繰 名	外国益教育のプロプティア	
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		41-70
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	目載会立のDOL / ごごカルオゴごーカト強叫フヽ	本柱の左無
1 . 著名名 山根 聡、 岩下明裕ほか編		
1. 著名名	なし	<del>無</del>
3 - 大き名   1 - 大き名   1 - 大き名   1 - 大き名   1 - 大きる名   1 - 大きる名	オープンアクセス	国際共著
世界 歌、著下明裕ほか娘 2 - 漁女標題 5 - 飛行年 2020年 3 - 現就を発 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 現代地政学事典 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 現代地政学事典 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 表著名 1 - ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 8 - ブンアクセスがは、	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
世界 歌、著下明裕ほか娘 2 - 漁女標題 5 - 飛行年 2020年 3 - 現就を発 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 現代地政学事典 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 現代地政学事典 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 表著名 1 - ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 8 - ブンアクセスがは、		_
世界 歌、著下明裕ほか娘 2 - 漁女標題 5 - 飛行年 2020年 3 - 現就を発 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 現代地政学事典 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 現代地政学事典 6 - 最初と最後の頁 634-635 8 1 表著名 1 - ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない。又はオーブンアクセスが困難 8 - ブンアクセスがは、	1 茅老名	4 巻
2 . 論文標題 南アジア 3 . 雑誌名 現代地政学事典 6 . 最初と最後の頁 634-635  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト調別子) なし 7 - ブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 Mitchi Ken 2 . 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Ahok' railies 3 . 雑誌名 South East Asia Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト選別子) 10 .1080/0967828X、2019 .1667110  1 . 著名名 Mitchi Ken, Kayane Yuka 4 . 巻 - プンアクセス  1 . 著名名 I i . 著名名 I i . 著名名 I i .		
南アジア   2020年   3 . 雑誌名   1 . 著名名   1 . 著名名   2 . 論文標題   5 . 発行年   2019年   7 . 一プンアクセス   1 . 著名名   2 . 記述の7001 (デジタルオプジェクト識別子)   2 . 正著名名   2 . 論文標題   2 . 是初と最後の頁   2 . 是初と思えるは、	山依 聡、石下明俗はか編	-
南アジア   2020年   3 . 雑誌名   現代地政学事典   6 . 最初と最後の頁   634-635   6 . 最初と最後の頁   634-635   6 . 最初と最後の頁   634-635   7	2 . 論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 現代地政学事典 6 . 最初と最後の頁 634-635 日戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著名名 Mirchi Ken 2 . 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Anok' rallies 3 . 雑誌名 South East Asia Research 日戦対策 イープンアクセス 日戦対策 イープンアクセス 日戦対策 イープンアクセス 日戦対策 イープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著名名 Mirchi Ken, Kayane Yuka 2 . 論文標題 Intent Sufficiant Response to the Sampang Incidents of 2019年 の		
現代地政学事典 634-635	107.2.7	2020 1
現代地政学事典 634-635	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文の201(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Milchi Ken 2 . 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Ahok' rallies 3 . 雑誌名 South East Asia Research  掲載論文の201(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1687110  1 . 著者名 Milchi Ken、 Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 20197年  1 . 漢書名 TRANS: Trans - Regional and - National Studies of Southeast Asia  掲載論文の201(デジタルオブジェクト識別子)		
なし 有		004 000
なし 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 巻 27 1. 著者名 Milichi Ken 2 5 発行年 2019年 2019年 2019年 3 雑誌名 6 最初と最後の頁 225-237 日本者名 Milichi Ken 2 7 日本者名 2019年 2019年 3 雑誌名 6 最初と最後の頁 225-237 日本者名 2 1 本者名 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3 雑誌名 6 最初と最後の頁 2019年 3 雑誌名 6 最初と最後の頁 2019年 4 本 2019年 5 兼 2019年 6 表 2019年 7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Milchi Ken  2. 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Ahok' rallies 3. 雑誌名 South East Asia Research  指載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110  1. 著者名 Milchi Ken、Kayane Yuka  2. 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011712 3. 雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  [精戦論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  [精戦論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  [東共著]	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1、著者名 Miichi Ken 27  2. 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- Anok rallies 3. 雑誌名 South East Asia Research 5. 最初と最後の頁 225-237  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	なし	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 Miichi Ken 27  2. 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Anok' ralliles 3 雑誌名 South East Asia Research 5. 最初と最後の頁 225-237  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		
1.著者名 Miichi Ken  2.論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Ahok' rallies  3.雑誌名 South East Asia Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110  1.著者名 Miichi Ken, Kayane Yuka  1.著者名 Miichi Ken, Kayane Yuka  2.論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3.雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  は 人 ・ 最初の有無 1.14  「		国際共著
Miichi Ken 27  2. 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Ahok' rallies 3. 雑誌名 South East Asia Research 6. 最初と最後の頁 225-237  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110 7. 直読の有無 オープンアクセス 国際共著  1. 著者名 Miichi Ken, Kayane Yuka 4. 巻 Miichi Ken, Kayane Yuka 5. 発行年 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011712 3. 雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 6. 最初と最後の頁 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 5. 最初の有無 10.1017/trn.2019.12 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
Miichi Ken  2. 論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti-		1 . "
2.論文標題 Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti- 'Ahok' rallies 3.雑誌名 South East Asia Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110  オープンアクセス  I 著者名 Mitchi Ken、Kayane Yuka  2.論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011712 3.雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  a i i i i i i i i i i i i i i i i i i	1.者首名	
Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti-	Miichi Ken	27
Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the anti-	2	F 25/2/F
' Ahok' rallies       6 . 最初と最後の頁         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         South East Asia Research       225-237         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1080/0967828X.2019.1667110       国際共著         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名       4 . 巻         Miichi Ken, Kayane Yuka       5 . 発行年         The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011912       5 . 発行年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia       6 . 最初と最後の頁         1-14       有         オープンアクセス       国際共著		
3 . 雑誌名 South East Asia Research  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110  オープンアクセス  1 . 著者名 Miichi Ken, Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011712  3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  [掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  [	Urban Sufi and politics in contemporary Indonesia: the role of dhikr associations in the ar	nti-   2019年
South East Asia Research 225-237  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	'Ahok' rallies	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110  オープンアクセス  コ際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Miichi Ken, Kayane Yuka  2. 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011712 3. 雑誌名 TRaNS: Trans - Regional and - National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  本ープンアクセス  国際共著	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/0967828X.2019.1667110  オープンアクセス  コ際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Miichi Ken, Kayane Yuka  2. 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011712 3. 雑誌名 TRaNS: Trans - Regional and - National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  本ープンアクセス  国際共著	South Fast Asia Research	225-237
10.1080/0967828X.2019.1667110 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 国際共著 イープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 Miichi Ken、Kayane Yuka 4. 巻 - 2. 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12 3. 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 6. 最初と最後の頁 1-14 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1080/0967828X.2019.1667110 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 国際共著 イープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 Miichi Ken、Kayane Yuka 4. 巻 - 2. 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12 3. 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 6. 最初と最後の頁 1-14 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12 有 14. 国際共著	旧新吟立のDOL/ごごクリナブごークト逆回フト	本生の左無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Miichi Ken、Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  [掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  有  国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Miichi Ken、Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  本ープンアクセス  国際共著	10.1080/0967828X.2019.1667110	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Miichi Ken、Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3 . 雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  [掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  有  オープンアクセス  国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Miichi Ken、Kayane Yuka 4 . 巻 - 2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12 3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 5 . 最初と最後の頁 1-14 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		-
Miichi Ken、Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 6 . 最初と最後の頁 1-14  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		ı
Miichi Ken、Kayane Yuka  2 . 論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 6 . 最初と最後の頁 1-14  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
2.論文標題 The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12 3.雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  有  国際共著		' ' ' '
The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3.雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  有  国際共著	MITOH NEIL NAVAHE TURA	· ·
The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incidents of 2011?12  3.雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  有  国際共著		5 発行在
of 2011?12 3.雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 6.最初と最後の頁 1-14 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12 有 国際共著	2 論文標題	
3.雑誌名 TRANS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12  有  国際共著		nts 2019年
TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 1-14 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1017/trn.2019.12 有 国際共著	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1017/trn.2019.12 有 国際共著	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12	6 最初と最後の百
10.1017/trn.2019.12 有 オープンアクセス 国際共著	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3.雑誌名	
10.1017/trn.2019.12 有 オープンアクセス 国際共著	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3.雑誌名	
オープンアクセス 国際共著	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3.雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia	1-14
	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3.雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia	1-14
	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	1-14 査読の有無
ナーデンファトラン・ナー・ファフウェナスト	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3. 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12	1-14 査読の有無 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	The Politics of Religious Pluralism in Indonesia: The Shi'a Response to the Sampang Incider of 2011?12 3 . 雑誌名 TRaNS: Trans -Regional and -National Studies of Southeast Asia 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/trn.2019.12 オープンアクセス	1-14 査読の有無 有

1 . 著者名 見市 建	4.巻 921
2 . 論文標題 インドネシア大統領選 : 「社会の分断」と民主主義の緩慢な後退	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 世界	6.最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 見市 建	4 . 巻
2. 論文標題 宗教	5 . 発行年 2020年
3 . 雑誌名 川中豪・川村晃一編『教養の東南アジア現代史』	6.最初と最後の頁 177-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 森 伸生	4.巻 11.12
2 . 論文標題 東京オリンピックへ向けた国内外の八ラール状況	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 海外事情	6.最初と最後の頁 72-84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 森 伸生	4.巻 16
2 . 論文標題 社会の安定と人々の共生のためにイスラーム理念の体現	5 . 発行年 2020年
3 . 雑誌名 シャリーア研究	6.最初と最後の頁 27-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1. 著者名	4 . 巻
森 伸生	16
2.論文標題	5 . 発行年
<b>クルアーン解釈 第20章ター・ハー章第99節~135節</b>	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
シャリーア研究	67-95
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<b>  オープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

### 〔学会発表〕 計92件(うち招待講演 14件/うち国際学会 39件)

1.発表者名

Yasushi Kosugi

2 . 発表標題

"Halal Economic Thinking and the Contribution of Resurgent Islamic Jurisprudence towards New Phases of Islamic Economic Developments: Reflections from Asia"

3.学会等名

International Conference on Islamic and Halal Economic Studies (招待講演) (国際学会)

4.発表年 2023年

1.発表者名

Yasushi Kosugi

- 2 . 発表標題
  - "Arabic Resurgence and Islamic Jurisprudence of New Issues (Nawazil and Mustajiddat) in the Era of Digitalization and Internet"
- 3 . 学会等名

Asia Pacific Conference 2023, at Ritsumeikan Asia Pacific University

4 . 発表年

2023年

1.発表者名

小杉泰

- 2 . 発表標題
  - 「地域研究における知的生産と価値創造は、いかにして可能か:生成AI革命の時代に、イスラーム法源学研究の立場から」
- 3.学会等名

公開シンポジウム「中東・イスラーム研究の新潮流:変容と危機の時代を考える」

4 . 発表年

2023年

1 . 発表者名     小杉泰
2 . 発表標題 「イスラーム法源学の復権と21世紀におけるイスラーム潮流の競合:解析と眺望」
3 . 学会等名 イスラーム法研究会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 Kota Suechika
2 . 発表標題 "Political Communication Strategy of Lebanese Hezbollah under Political Crises: A Quantitative Text Analysis of al-Manar Channel"
3 . 学会等名 The 25th Mediterranean Studies Association Annual International Congress(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Kota Suechika
2. 発表標題 "Contested Statehood in Post-conflict Authoritarian Syria: A Quantitative Analysis of the 2021 Public Opinion Survey"
3 . 学会等名 The IPSA 27th World Congress of Political Science(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Kota Suechika
2. 発表標題 "Lebanese Hezbollah's Political Communication Strategy in Consociational Democracy, 2016-2020: A Quantitative Text Analysis of Al-Manar"
3 . 学会等名 The 8th International Forum on Asia and the Middle East(国際学会)
4 . 発表年 2023年

1.発表者名
Kota Suechika
2 . 発表標題
"Reconsidering 'State-Diffusion' in Jordan: Evidence from a List Experiment Survey"
3.学会等名 Middle East Studies Association (MESA), The 57th Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 末近浩太
2.発表標題
「『武装穏健派』とは何か:武力行使をめぐるイスラーム法解釈」
3.学会等名
イスラーム政治研究会「政治と暴力」
4.発表年
2023年
1.発表者名
山根聡
2 . 発表標題 「教養と娯楽:雑誌『女性の声』(デリー)の 内容から見えるムスリム女性のたしなみ」
教養と展来・推動・文任の声』(チザー)の「科替がう先んるムスサム文任のだけなが」
3.学会等名 日本南アジア学会第35回全国大会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名
山根聡
2.発表標題
「居住空間『ハヴェーリー』について」
3.学会等名
環インド洋地域研究 特別研究会
4 . 発表年
2023年

1 . 発表者名
山根聡
2、
2.発表標題
「パキスタンのシャリーア法廷について:設置、機能、争点について」
3 . 学会等名
イスラーム法研究会
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
Shinsuke Nagaoka
2
2.発表標題 "Jologia Footomy and Book Conitalian, A New Maral Footomy Envisioned by the Povince of Word,"
"Islamic Economy and Post-Capitalism: A New Moral Economy Envisioned by the Revival of Waqf"
3.学会等名
International Conference on Islamic and Halal Economic Studies (国際学会)
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
長岡慎介
2.発表標題
「ポスト資本主義論のフロンティアとイスラーム経済」
イスラーム経済・ハラール産業研究会
I ハン 中に併 ハン V庄木明ルム
4.発表年
2023年
1.発表者名
森伸生
2. 発表標題
「ハラール認証規格とシャリーア対応:ハラール認証現場から」
3.学会等名
3 . 子会寺名 イスラーム経済・ハラール産業研究会
1 人ノーム経月・ハフール性未研九云
4.発表年
2023年
EVEC

1 . 発表者名     森伸生
2.発表標題「イスラームの食規範とハラール認証状況」
3.学会等名 世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Ken Miichi
2. 発表標題 "Religio-Political Ideology and Gendered Cyberspace Discourse in Indonesia, Crime, Justice, and Digital Security in the Pandemic Era and Beyond: Local & Global Issues "
3.学会等名 Universitas Indonesia(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 見市建
2.発表標題 「インドネシアにおける性倫理をめぐる議論:反フェミニストに注目して」
3 . 学会等名 イスラーム法研究会「性倫理と服装規定」
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 Yasushi KOSUGI
2 . 発表標題 Islamic Construction of Rulings on Biological Death, Funerals, Burials, Life in the Grave, and the Afterlife: Mainstream Jurisprudence vs. Salafism
3 . 学会等名 20th Asia Pacific Conference (国際学会)
4.発表年 2022年

1.発表者名 Yasushi KOSUGI
2 . 発表標題 Revival of Islamic Jurisprudence and the Philosophy of a Halal Life: Prospects of Halal Economic and Social Activities toward a Sustainable Future
3 . 学会等名
International Colloquium on Islamic and Halal Economic Studies: Towards a New Horizon in the Post-COVID Era(国際学会)
4 . 発表年 2023年
2020—
1 . 発表者名 Kota SUECHIKA
2 . 発表標題 Nation/state-building and Democratization of the Post-Arab Spring Libya: An Analysis of the 2019 Survey
- WAMP
3 . 学会等名 24th Mediterranean Studies Association Annual International Congress(国際学会)
4 . 発表年 2022年
and the first fac
1 . 発表者名 Kota SUECHIKA and Dai YAMAO
Kota SUECHIKA and Dai YAMAO  2 . 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey
Kota SUECHIKA and Dai YAMAO  2 . 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public
Xota SUECHIKA and Dai YAMAO  2 . 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3 . 学会等名
2. 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3. 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4. 発表年 2023年
Xota SUECHIKA and Dai YAMAO  2 . 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3 . 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4 . 発表年
2. 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3. 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4. 発表年 2023年
2. 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3. 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4. 発表年 2023年
2. 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3. 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4. 発表年 2023年
2. 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3. 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4. 発表年 2023年  1. 発表者名 So YAMANE  2. 発表標題 Khomeini's Letter to Maududi: Islamist Thought Connected by Translation
2 . 発表標題 How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey  3 . 学会等名 International Conference on Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East (国際学会)  4 . 発表年 2023年  1 . 発表者名 So YAMANE

1.発表者名
Sinsuke NAGAOKA
2 - 7V 主 1平 R5
2. 発表標題
Toward a Comparative Analysis of 'Mobility' in Economic Institutions: An Inquiry from Islamic Economic Studies
3.学会等名
기 : 구도하다 International Colloquium on Islamic and Halal Economic Studies: Towards New Horizons in the Post-Covid Era(国際学会)
International correquisition is islamic and harar economic studies. Towards New Horizons III the Fost-covid Eta (国际子女)
4.発表年
2023年
ZVZO-T
1.発表者名
- 1 · 元权自由 - 1 · 小杉泰
U 에 가장
2 . 発表標題
イスラーム文明の特質と現代における文明復興
3 . 学会等名
文明構造の転換と日本の戦略研究会
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
小杉泰
고 장‡+而B
2.発表標題
宗教から考える人類文明と現代イスラーム
立命館西園寺塾(招待講演)
ㅗW에디즈 V ᆂ / IHIV時/X /
4.発表年
2023年
<del></del>
1.発表者名
末近浩太
2.発表標題
『現代シリアの国家変容とイスラーム』再訪:地域研究の拡張・発展に向けて
3 . 学会等名
AJI Book Club「著者は語る」
4 . 発表年
2022年

1. 発表を名 末近海太      2. 発表修理     歴史的シリア(シャーム)研究の新たな挑戦:コンドンからの眺望      3. 学会等名     公開ンがジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦:コロナ危機を超えて」      4. 光表性     2023年      1. 発表を名 末近海太      2. 指表修理     2023年      3. 学会等名     45回 前巻望信ロンドン・トップセミナー(超待講演)      4. 発表性     2023年      1. 発表者名 末近海太      2. 指表情題     中東を認神話化する:英文化理解と情勢分析のあいだで      3. 学会等名     立命を配回寺型、(招待講演)      3. 学会等名     立のを展回寺型、(招待講演)      3. 学会者名     2. 指表情題     1. 発表者名     1. 発表者名     1. 発表者名     2. 指表情題     2. 生活の表別である。10元で      3. 学会等名     2022年      3. 学会等名     3. 学会等名	
2 . 孫表標題 歴史的シリア(シャーム) 研究の新たな挑戦: ロンドンからの眺望 3 . 学会書名 公開シンボジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦: コロナ危機を超えて」 4 . 景表年 2023年 1 . 発表書名 未近浩太 2 . 発表標題 湿速の腕(中東情勢を展望する 3 . 学会書名 435回 助等通信ロンドン・トップセミナー(招待講演) 4 . 発表者 2 . 発表構題 中東を影神話化する: 異文化理解と特勢分析のあいだで 3 . 学会寄名 立命館西興寺塾(招待講演) 4 . 発表件 2023年 1 . 発表構題 「中東を影神話化する: 異文化理解と特勢分析のあいだで 3 . 学会寄名 立命館西興寺塾(招待講演) 4 . 発表年 1 . 発表様題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史 2 . 飛表構題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史 3 . 学会寄名 3 . 学会寄名 3 . 学会寄名	
歴史的シリア(シャーム) 研究の新たな挑戦:ロンドンからの眺望  3 . 学会等名 公開シンポジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦:コロナ危機を超えて」  4 . 発表年 2023年  1 . 発表書名 未近浩太  2 . 発表標題 周述の続く中東情勢を展望する  3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)  4 . 発表年 2023年  1 . 発表書名 未近浩太  2 . 発表機器 中東を設神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命能西田時塾(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表書名 山根聡  2 . 発表機器 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 3の回「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	末近浩太
歴史的シリア(シャーム) 研究の新たな挑戦: コンドンからの眺望  3 . 学会等名 公開シンボジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦: コロナ危機を超えて」  4 . 発表権名 未近浩太  2 . 発表機調 浩迷の続く中東情勢を展望する  3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)  4 . 発表年 2023年  1 . 発表者名 未近浩太  2 . 発表機調 中東を設神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命能理問等型(招待講演)  4 . 発表を記さらに関する  3 . 学会等名 立の能理問時型(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表機類 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 3 個「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
歴史的シリア(シャーム) 研究の新たな挑戦: コンドンからの眺望  3 . 学会等名 公開シンボジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦: コロナ危機を超えて」  4 . 発表権名 未近浩太  2 . 発表機調 浩迷の続く中東情勢を展望する  3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)  4 . 発表年 2023年  1 . 発表者名 未近浩太  2 . 発表機調 中東を設神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命能理問等型(招待講演)  4 . 発表を記さらに関する  3 . 学会等名 立の能理問時型(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表機類 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 3 個「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
歴史的シリア(シャーム) 研究の新たな挑戦: コンドンからの眺望  3. 学会等名 公開シンボジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦: コロナ危機を超えて」  4. 発表権名 未近浩太  2. 発表標題 浩迷の続く中東情勢を展望する  3. 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)  4. 発表年 2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表機器 中東を設神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命能理師寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表構題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	
3 . 学会等名 公開シグボジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦:コロナ危機を超えて」     4 . 発表年 2023年     1 . 発表者名 未近浩太     2 . 発表標題     活迷の姉く中東倩勢を展望する     3 . 学会等名 486回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)     4 . 発表年 2023年     1 . 発表構題 中東を配神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで     3 . 学会等名     立命総四盟寺を(招待講演)     4 . 発表年 2022年     1 . 発表者名 山根聡     2 . 発表構題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史     3 . 学会等名	
4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 未近浩太 2 . 発表標題 治迷の続く中東情勢を展望する 3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待譲渡) 4 . 発表年 2023年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名 立命館西暦寺塾(招待講演) 4 . 発表年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名	歴史的シリア(シャーム)研究の新たな挑戦:ロンドンからの眺望
4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 未近浩太 2 . 発表標題 治迷の続く中東情勢を展望する 3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待譲渡) 4 . 発表年 2023年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名 立命館西暦寺塾(招待講演) 4 . 発表年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名	
4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 未近浩太 2 . 発表標題 治迷の続く中東情勢を展望する 3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待譲渡) 4 . 発表年 2023年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名 立命館西暦寺塾(招待講演) 4 . 発表年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名	
4 . 発表年 2023年 1 . 発表者名 未近浩太 2 . 発表標題 治迷の続く中東情勢を展望する 3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待譲渡) 4 . 発表年 2023年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名 立命館西暦寺塾(招待講演) 4 . 発表年 2 . 発表標題 中東を散神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで 3 . 学会等名	
4. 発表有 2023年     1. 発表者名 未近浩太     2. 発表標題 混迷の終く中東信勢を展望する     3. 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)     4. 発表有 2023年     1. 発表者名 未近浩太     2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで     3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)     4. 発表有 2022年     1. 発表者名 山根聡     2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史     3. 学会等名 30回「シンポジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)     4. 発表存	
1 . 発表者名 未近浩太  2 . 発表標題	公開シンポジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦:コロナ危機を超えて」
1 . 発表者名 未近浩太  2 . 発表標題	
未近浩太	2023年
未近浩太	
未近浩太	1.発表者名
2 . 発表標題	
<ul> <li>混迷の続く中東情勢を展望する</li> <li>3. 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)</li> <li>4. 発表年 2023年</li> <li>1. 発表者名 未近浩太</li> <li>2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで</li> <li>3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)</li> <li>4. 発表年 2022年</li> <li>1. 発表者名 山根聡</li> <li>2. 発表標題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史</li> <li>3. 学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)</li> <li>4. 発表年</li> </ul>	
<ul> <li>混迷の続く中東情勢を展望する</li> <li>3. 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)</li> <li>4. 発表年 2023年</li> <li>1. 発表者名 未近浩太</li> <li>2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで</li> <li>3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)</li> <li>4. 発表年 2022年</li> <li>1. 発表者名 山根聡</li> <li>2. 発表標題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史</li> <li>3. 学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)</li> <li>4. 発表年</li> </ul>	
<ul> <li>混迷の続く中東情勢を展望する</li> <li>3. 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)</li> <li>4. 発表年 2023年</li> <li>1. 発表者名 未近浩太</li> <li>2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで</li> <li>3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)</li> <li>4. 発表年 2022年</li> <li>1. 発表者名 山根聡</li> <li>2. 発表標題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史</li> <li>3. 学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)</li> <li>4. 発表年</li> </ul>	
3 . 学会等名 435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)  4 . 発表年 2023年  1 . 発表者名 末近浩太  2 . 発表標題 中東を脱神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命館団闘寺塾(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表標題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	2 . 発表標題
4. 発表年 2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表構題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)	混迷の続く中東情勢を展望する
4. 発表年 2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表構題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)	
4. 発表年 2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表構題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)	
4. 発表年 2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表構題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)	
4 . 発表年 2023年      1 . 発表者名 未近浩太      2 . 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで      3 . 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)      4 . 発表年 2022年      1 . 発表者名 山根聡      2 . 発表標題 バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史      3 . 学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)      4 . 発表年	
2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	435回 時事通信ロンドン・トップセミナー(招待講演)
2023年  1. 発表者名 未近浩太  2. 発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3. 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	
<ol> <li>発表者名 未近浩太</li> <li>発表標題 中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで</li> <li>子会等名 立命館西園寺塾(招待講演)</li> <li>発表年 2022年</li> <li>発表者名 山根聡</li> <li>発表者名 山根聡</li> <li>学会等名 36回「シンボジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)</li> <li>発表年</li> </ol>	
末近浩太      2 . 発表標題     中東を脱神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで      3 . 学会等名     立命館西園寺塾(招待講演)      4 . 発表年     2022年      1 . 発表者名     山根聡      2 . 発表標題     バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史      3 . 学会等名     36回「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)      4 . 発表年	2023年
末近浩太      2 . 発表標題     中東を脱神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで      3 . 学会等名     立命館西園寺塾(招待講演)      4 . 発表年     2022年      1 . 発表者名     山根聡      2 . 発表標題     バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史      3 . 学会等名     36回「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)      4 . 発表年	
末近浩太      2 . 発表標題     中東を脱神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで      3 . 学会等名     立命館西園寺塾(招待講演)      4 . 発表年     2022年      1 . 発表者名     山根聡      2 . 発表標題     バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史      3 . 学会等名     36回「シンボジウム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)      4 . 発表年      4 . 発表年	
2 . 発表標題 中東を脱神話化する: 異文化理解と情勢分析のあいだで      3 . 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)      4 . 発表年 2022年      1 . 発表者名 山根聡      2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史      3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)      4 . 発表年	
中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで  3 . 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
3 . 学会等名 立命館西園寺塾(招待講演)  4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	中東を脱神話化する:異文化理解と情勢分析のあいだで
立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	
立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	
立命館西園寺塾(招待講演)  4. 発表年 2022年  1. 発表者名 山根聡  2. 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3. 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4. 発表年	
4 . 発表年 2022年  1 . 発表者名 山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
2022年         1 . 発表者名 山根聡         2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史         3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)         4 . 発表年	<b>」  立命館西園寺塾(招待講演)</b>
2022年         1 . 発表者名 山根聡         2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史         3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)         4 . 発表年	
1 . 発表者名 山根聡 2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史 3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演) 4 . 発表年	
山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
山根聡  2 . 発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
<ul> <li>2.発表標題 パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史</li> <li>3.学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)</li> <li>4.発表年</li> </ul>	
パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
パキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史  3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)  4 . 発表年	
3 . 学会等名 36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演) 4 . 発表年	
36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演) 4.発表年	バキスタンの言語事情とウルドゥー文学の歴史
36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演) 4.発表年	
36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演) 4.発表年	
36回「シンポジウム・パーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演) 4.発表年	0 WAMP
4.発表年	
	36回「シンホジワム・バーキスターン2022 ウルドゥー語の世界」(招待講演)
2022年	
	2022年

1.発表者名
山根聡
2.発表標題
19世紀後半のウルドゥー語資料に見る文学空間と宗教 - 牝牛保護運動のマスナヴィー
- 2
3.学会等名
イスラーム穏健派研究会
4 . 発表年
2023年
1. 発表者名
長岡慎介
2.発表標題
アジア・アフリカから考える資本主義の未来
3. 学会等名
5回日立京大ラボ・京都大学シンポジウム「創造的市民による社会づくりとWellbeingの実現」(招待講演)
4 . 発表年
2023年
1. 発表者名
森伸生
2. 発表標題
イスラームの倫理道徳規範に想う
and the second s
3.学会等名
平和研究所研究会
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
小杉 泰
2. 発表標題
イスラーム法源学におけるアラビア語学の役割と法解釈上の意義
3 . 学会等名
イスラーム法研究会「アラビア語とイスラーム法」
4.発表年
2021年

1.発表者名 小杉 泰
2 . 発表標題 穏健主流派の苦闘とその展望:ウスール(法源学)派を中心に
<b>は姓土ル水の占向とての検主・フスール(広原子)水を中心に</b>
3.学会等名
20年目の9.11を超えて:グローバル社会、イスラーム世界、ポスト・テロ時代を眺望する
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Yasushi Kosugi
rasusiii Nosugi
2. 発表標題
DX (Digital Transformation) of our Research under the COVID-19 Pandemic: Towards the Islamic Civilizational Renewal, the Reformulation of the Ummah, and Resurgent Islamic Jurisprudence
3.学会等名
11th International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2021), Universiti Kebangsaan Malaysia(国際学会)
4. 発表年
2021年
1.発表者名 Vocabli Kongi
Yasushi Kosugi
2.発表標題
Why the Classical Texts Matter Today: Islamic Jurisprudence in Response to the Needs of Modern Muslim Communities
3 . 学会等名
19th Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University, Beppu(国際学会)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
小杉 泰
2.発表標題
イスラーム法源学におけるキヤースの位置付けと法規定の導出法
3. 学会等名
イスラーム法研究会「法源学とアラビア語学におけるキヤース(類推)をめぐって」
4.発表年
2022年

#### 1.発表者名

Kota Suechica

## 2 . 発表標題

Critical Geopolitics of the Syrian Conflict: The Territorial Partitions of Bilad al-Sham and Beyond, Panel 6B "Critical Perspectives on Eastern Mediterranean Security,"

#### 3.学会等名

The 23rd Mediterranean Studies Association Annual International Congress, University of Gibraltar, GIBRALTAR (国際学会)

### 4.発表年

2021年

### 1.発表者名

Kota Suechica

### 2 . 発表標題

Israeli Zionists or Syrian Takfiris: A Quantitative Analysis of Hezbollah's Framing of Resistance, Panel RC42.04 "Evolving Methodologies in the Study of Middle East Politics"

#### 3. 学会等名

The IPSA 26th World Congress of Political Science, "New Nationalisms in an Open World," Lisbon, PORTUGAL(国際学会)

### 4.発表年

2021年

#### 1.発表者名

Kota Suechica

#### 2 . 発表標題

Hezbollah's Framing of the Two-front Resistance: A Quantitative Analysis of Hasan Nasrallah's Speeches, P6596 "Armed Non-State Actors and their Quest for Legitimacy"

#### 3.学会等名

Middle East Studies Association (MESA), The 55th Annual Meeting (国際学会)

### 4.発表年

2021年

### 1.発表者名

末近浩太、米田優作

#### 2 . 発表標題

「イスラーム主義」を問い直す:中東・イスラーム世界における政教関係の動態的把握に向けて

## 3 . 学会等名

政治研究会「現代イスラーム政治と宗教をめぐる視角と枠組み」

# 4. 発表年

2021年

1.発表者名
山根 聡
2 . 発表標題 ターリバーンの25年
3.学会等名
ターリバーン政権復活をめぐる利益と不利益
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名
- 1 . 光衣自石 - 山根 - 聡
2 . 発表標題
アフガニスタン政権の失敗とターリバーンの再拡大
3 . 学会等名 緊急ウェビナー「緊迫するアフガニスタン情勢」
4.発表年
2021年
1.発表者名
山根 聡 
2 . 発表標題 9.11がもたらしたパキスタンの社会変容と南アジア域内情勢の流動化
3.学会等名
20年目の9.11を超えて:グローバル社会、イスラーム世界、ポスト・テロ時代を眺望する
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山根 聡
2.発表標題
南アジアの思想潮流とターリバーン
3.学会等名 現代ムスリム知識人の変容と交流
4 . 発表年
4 . <del>先表年</del> 2021年

1.
2 . 発表標題 パキスタン社会のターリバーン政権へのまなざし:域内関係における新たなコネクティビティとイスラーム
3 . 学会等名 思想と戦略にみるコネクティビティ:パキスタン、アフガニスタンとシリアの事例から
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 So YAMANE
2 . 発表標題 Ijtimaa'ii Zahaanat men Urdu kaa Kirdaar(集団的知性におけるウルドゥー文学の役割)
3 . 学会等名 Internatiojnal Conference on the Role of Urdu(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 山根 聡
2 . 発表標題 18世紀パンジャープにおける諸宗教の交差
3.学会等名 RINDAS 総括シンポジウム「南アジアの思想と価値の基層的変化」
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 So YAMANE
2 . 発表標題 National Cricket Hero Wears White Hat- How Pakistani Politics Create a New Leader
3.学会等名 International Conference Populism, Diversity, and 'Enemies of the People': 'Politics' and Society in South Asia in the Twenty-First Century (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 Ken Miichi
2 . 発表標題
The Indonesian Feminists' Networking and Strategy: a Case Study of the 2019 Marriage Law Revision
3 . 学会等名 The 12th International Convention of Asia Scholars (ICAS)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Shinsuke Nagaoka
2 . 発表標題 Mobility in the Islamic Economy: Its Historical Experience and Post-Capitalist Potentials
3. 学会等名 FFJ-CNRS Webinair Series: Understanding Religious Dynamics in Economy: A French-Japanese Perspective on Islamic(国際学会)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Shinsuke Nagaoka
2 . 発表標題 Mobility in the Islamic Economy: Its Potential for Application in Post-Capitalist Society
3 . 学会等名 11th International Symposium on Islamic Civilization and Science(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 長岡慎介
2. 発表標題 接近するポスト資本主義とイスラーム経済
3.学会等名 NIHU現代中東地域研究シンポジウム「現代中東理解のための5つの視角」
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 長岡慎介
2 . 発表標題 イスラーム経済から考える利己と利他
3 . 学会等名 シンポジウム「中東・イスラーム研究の課題と展望 ポストコロナ時代にむけて」
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 長岡慎介
2 . 発表標題
中東・イスラーム世界から始まる新しい経済の息吹
3.学会等名
公開講演会「北陸で学ぶ中東の政治・宗教・社会」
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 小杉 泰
2 . 発表標題 軍事と戦争の政教分離とイスラーム復興:法源学研究の観点から
3 . 学会等名 政治研究会「政治と暴力」
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名  小杉 泰・池端蕗子
2 . 発表標題 ジャマーア / イジュマー論をめぐって:スンナ派イスラームにおける多数派主義とその表現方法の変遷
3 . 学会等名 イスラーム法研究会「イジュマー論の現代的地平」
4 . 発表年 2020年

1.発表者名
Yasushi KOSUGI
2.発表標題
Resurgent Islamic Jurisprudence and an Alternative Path of Development
3.学会等名
18th Asia Pacific Conference
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
小杉 泰
2. 艾丰福昭
2 . 発表標題 中東・イスラーム研究におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の次段階へ向けて:法源学データベースの戦略を事例として
〒本 □ スノ『AWI元にのけるしへ(ナンテルドフノスフォーグーション)の从段階へ同けて:法源子ナーダベー人の戦略を事例として 
3 . 学会等名
公開シンポジウム「中東・イスラーム研究の新地平 ウィズコロナ時代のチャレンジ」
4.発表年
2021年
<del></del>
1.発表者名
小杉 泰
2.発表標題
サラフとサラフィー主義(サラフィーヤ)の名づけとその系譜
3.学会等名
3 . 子云寺石 イスラーム法研究会「サラファイー主義とは何か」
4.発表年
2021年
1.発表者名
小杉 泰
2 . 発表標題
イスラームの性倫理とは何か:シャリーアの法益(マカースィド)論から
3.学会等名
イスラーム法研究会「現代イスラーム・ジェンダー・性倫理をめぐる視座と論点整理」
4 . 発表年
2021年

1.発表者名 末近浩太
2 . 発表標題 中東の紛争(発生・継続・終焉)をどのように分析すべきか
3 . 学会等名 イスラーム政治研究会「政治と暴力」
4 . 発表年 2020年
Kota Suechika
2.発表標題
Syria, JCPOA and the New US Administration
2 24/4/4
3 . 学会等名 The 8th IPIS-SPF Joint Roundtable, Webinar "Regional and International Issues"(国際学会)
4. 発表年
2021年
1.発表者名 未近浩太
2 . 発表標題 変動する湾岸情勢と日本:危機の時代を前望する
3.学会等名
イラン・イラク戦争から40年・湾岸危機/湾岸戦争から30年・公開シンポジウム
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
I. 光衣有名 Ken Miichi
2 . 発表標題 Prospek Pemerintah PM Suga
3.学会等名
Re-Orient Webinar Series, Director for East Asian and Pacific Affairs, Ministry of Foreign Affairs of the Republic of Indonesia(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年

1.発表者名
Ken Miichi
2、艾生+馬馬
2. 発表標題
Studi Islam dan Politik di Indonesia pada Era Polarisasi
3.学会等名
Peran Umat Islam Indonesia dalam Pembangunan Sumber Daya Manusia Unggul Menuju Indonesia Emas 2045(招待講演)
retali ullat istalii iliuulesta uatalii reliibangunan sulibet baya waliusta unggut wehuju iliuulesta tilas 2043 (由时時)
4.発表年
2020年
20204
Ken Miichi
2.発表標題
Is Madura unique?: Examining through elections
13 madura diriyud: Ezamiring tiribagii dicettibis
3 . 学会等名
International Conference on Islamic Studies(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2020年
1.発表者名 Ken Mijchi
1.発表者名 Ken Miichi
Ken Miichi
Ken Miichi
Ken Miichi 2.発表標題
Ken Miichi 2.発表標題
Example 2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues
Example 2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名
Example 2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues
Example 2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)
Example 2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4 . 発表年
Example 2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)
Z. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年
Z. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年
Z. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年
Z. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年
Z. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年
2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年  1. 発表者名 見市 建
Xen Miichi  2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年  1. 発表者名 見市 建
2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年  1. 発表者名 見市 建
Xen Miichi  2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年  1. 発表者名 見市 建
Xen Miichi  2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4. 発表年 2021年  1. 発表者名 見市 建
<ul> <li>Ken Miichi</li> <li>2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues</li> <li>3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)</li> <li>4. 発表年 2021年</li> <li>1. 発表者名 見市 建</li> <li>2. 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論</li> </ul>
2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4 . 発表年 2021年  1 . 発表者名 見市 建  2 . 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論  3 . 学会等名
<ul> <li>Ken Miichi</li> <li>2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues</li> <li>3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)</li> <li>4. 発表年 2021年</li> <li>1. 発表者名 見市 建</li> <li>2. 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論</li> </ul>
<ul> <li>Ken Miichi</li> <li>2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues</li> <li>3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)</li> <li>4. 発表年 2021年</li> <li>1. 発表者名 見市 建</li> <li>2. 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論</li> <li>3. 学会等名 イスラーム法研究会 「現代イスラーム・ジェンダー・性倫理をめぐる視座と論点整理」</li> </ul>
2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4 . 発表年 2021年  1 . 発表者名 見市 建  2 . 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論  3 . 学会等名 イスラーム法研究会 「現代イスラーム・ジェンダー・性倫理をめぐる視座と論点整理」  4 . 発表年
<ul> <li>Ken Miichi</li> <li>2. 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues</li> <li>3. 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)</li> <li>4. 発表年 2021年</li> <li>1. 発表者名 見市 建</li> <li>2. 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論</li> <li>3. 学会等名 イスラーム法研究会 「現代イスラーム・ジェンダー・性倫理をめぐる視座と論点整理」</li> </ul>
2 . 発表標題 Post Islamism Revisited: The Response of Indonesia's Prosperous Justice Party (PKS) to Gender Related Issues  3 . 学会等名 Islam and Diversity in Contemporary Indonesia: Belief, Gender, and Politics (招待講演)  4 . 発表年 2021年  1 . 発表者名 見市 建  2 . 発表標題 インドネシアにおけるジェンダーの政治研究試論  3 . 学会等名 イスラーム法研究会 「現代イスラーム・ジェンダー・性倫理をめぐる視座と論点整理」  4 . 発表年

1. 発表者名
長岡慎介
2.発表標題
資本主義の危機とイスラーム経済の挑戦
3.学会等名
日本オリエント学会 / 同志社大学一神教センター公開講演会(招待講演)
- 2021年
20214
1.発表者名
・・・元代自己 - 森 伸生
M ITE
2 . 発表標題
ハラール認証製品のハラール性維持に関する考察
3.学会等名
イスラーム経済・八ラール産業研究会
4 及羊仁
4.発表年 2004年
2021年
1.発表者名
- 「
3% Sk
2.発表標題
シャリーアとイスラーム法学の体系化過程とその法源学な構造をめぐって:今日のイス ラーム法復興と主流化・過激化の解析へ向けて
3 . 学会等名
「現代イスラームにおける法源学 の復権と政治・経済の新動向:過激派と対峙する主流派」研究会
4. 発表年 2010年
2019年
1.発表者名
I. 完表看名 Yasushi KOSUGI
Tabusiti Noodu
2 . 発表標題
Towards a Trialogue between Civilizations: Asian and Japanese Engagement with the Islamic World
3.学会等名
International Conference of "Inter-Civilizational Dialogue"(国際学会)
4.発表年
2019年

1.発表者名
Yasushi KOSUGI
2.発表標題
Hadith Studies Renewal Through Informatics and Resurgent Islamic Jurisprudence: How Can They Contribute to Contemporary
Islamic Economic Thought?
istante Leonomie indugiti:
0 24 A M C
3.学会等名
Kyoto-Durham International Workshop Islamic Economics and Finance: New Horizons in Islamic Economics and Finance(国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Yasushi KOSUGI
2.発表標題
A Success Brings More Challenges: Next Steps in Islamic Economic Studies and Resurgent Islamic Jurisprudence
3.学会等名
International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2019)(国際学会)
. W
4.発表年
2019年
1 . 発表者名
小杉 泰
2.発表標題
宗教をめぐる新しい布置図とイスラーム法源学の復権
3 . 学会等名
立命館大学アジア・日本研究所、中東・イスラーム研究センター他、共催シンポジウム「現代イスラーム世界を眺望する 研究の最前線
- J
4.発表年
2020年
1 . 発表者名
Yasushi KOSUGI
2.発表標題
2 . 発表標題 The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan 3.学会等名
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan  3 . 学会等名 International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism (国際学会)
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan  3 . 学会等名 International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism (国際学会)
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan  3 . 学会等名 International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism (国際学会)  4 . 発表年
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan  3 . 学会等名 International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism (国際学会)
The Islamic Revival, Islamic Economic Studies, and Halal Studies: Research Strategies and Prospects in Japan  3 . 学会等名 International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism (国際学会)  4 . 発表年

1.発表者名	
Yasushi KOSUGI	
2 . 発表標題	
The Pursuit of Islamic Economic Studies in Japan and in the Global Society: Objectives and Strategies for Knowledge	
Generation	
3.学会等名	
International Workshop on Waqf Revitalization(国際学会)	
4.発表年	
2020年	
2020-	
. The defe	
1.発表者名	
Kota Suechika	
2 . 発表標題	
Diffusion and Convergence of Statehood in Syria under Conflict: The 2017 Social Survey Analysis	
3.学会等名	
The 22nd Mediterranean Studies Association Annual International Congress(国際学会)	
4 . 発表年	
2019年	
2019年	
1.発表者名	
1.発表者名 Kota Suechika	
Kota Suechika	
Kota Suechika 2.発表標題	
Kota Suechika 2.発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of	f
Kota Suechika 2.発表標題	f
Kota Suechika 2.発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of	f
Kota Suechika 2.発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of	f
Kota Suechika 2.発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名	f
Kota Suechika 2.発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference(国際学会)	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference(国際学会)	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference(国際学会)	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference(国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference(国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference(国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Xota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika	f
Xota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika	f
Xota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika  2 . 発表標題 Reconsidering the State-Convergence Thesis in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis	f
Xota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika  2 . 発表標題 Reconsidering the State-Convergence Thesis in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis  3 . 学会等名	f
Xota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika  2 . 発表標題 Reconsidering the State-Convergence Thesis in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis	f
Kota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika  2 . 発表標題 Reconsidering the State-Convergence Thesis in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis  3 . 学会等名 Panel FD01 "Actors, International Security and Intelligence Education," ISA International Conference 2019 (国際学会)	f
Xota Suechika  2 . 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s  3 . 学会等名 Panel TB15 "How Authoritarianism Endures," CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Kota Suechika  2 . 発表標題 Reconsidering the State-Convergence Thesis in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis  3 . 学会等名	f

4 N. T.
1 . 発表者名 末近浩太
2. 発表標題
中東政治研究におけるイスラーム主義:逸脱事例・パラドクス・選択バイアス
日本国際政治学会2019年度研究大会
4.発表年
2019年
4 改主 <del>2</del>
1.発表者名
山根 聡
2 . 発表標題
南アジア・イスラーム復興思想の拡散に見る翻訳活動
3.子云寺石   現代中東地域研究次世代共同研究会2019年度第1回「現代ムスリム知識人の地域横断ネットワークに関する研究 ウズベキスタン・シリ
現代中来地域研究が自代表向研究会2019年度第1回 現代などりな知識人の地域模断ネットラーッに関する研究 ラスペーステラ・ラッ   ア・リビアのウラマー・スーフィーの交流を中心に(招待講演)
4 . 発表年
2019年
1. 発表者名
山根 聡
カシミール問題を発端とする国際情勢とパキスタンの現状
コードムな々
3.学会等名 中国建筑研究会(切结键法)
中東情勢研究会(招待講演)
2019年
1.発表者名
So YAMANE
2.発表標題
2.光衣標題   Japan men Urdu Zaban ki Ta'lim ki Mukhtasar Tarikh (日本におけるウルドゥー語教育の歴史)
- Gapan mon Grad Zaban Ki Ta Tim Ki mukitabar Tarikii (日本にのけるフルトラ m教育の歴史)
3.学会等名
第12回国際ウルドゥー会議(国際学会)
4. 発表年 2019年

1.発表者名
So YAMANE
2 . 光衣標題   Japan men Panjabi Zaban o Adab ki Tadris ki Mukhtasar Tarikh (日本におけるパンジャービー語とその文学の研究史)
国際パンジャービー研究セミナー(国際学会)
4.発表年
2020年
1.発表者名
見市 建
2 . 発表標題
インドネシアにおけるIS台頭のパラドックス:分裂と国内政治への参与
3.学会等名
東南アジア学会
2019年
1.発表者名
Shinsuke Nagaoka
2.発表標題
2.光衣標題   Islamic Finance in Global History: Toward Comparative Studies of the History of Interest
Totalino Titaliao III otosat Inototy. Tollara comparativo citalios di tito inototy di interest
3. チ云ਚਰ   Kyoto-Durham International Workshop in Islamic Economics and Finance New Horizons in Islamic Economic(国際学会)
4.発表年 2010年
2019年
1.発表者名
Shinsuke Nagaoka
2 . 発表標題
Islamic Economics Coming Back to Adam Smith? The Future of Capitalism from an Islamic Perspective
3.学会等名
International Symposium on Islam, Civilization and Science(国際学会)
2019年

1 . 発表者名 Shinsuke Nagaoka	
2.発表標題 Revitalization of Waqf and its Potential to Design a Post-Capitalist Economy	
3.学会等名 International Workshop on Waqf Revitalization(国際学会)	
4 . 発表年 2020年	
〔図書〕 計33件	7V./ In-
1 . 著者名 森伸生、堀拔功二、佐藤麻理絵、渡邊駿	4 . 発行年 2023年
2 . 出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 <sup>259</sup>
3 . 書名 中村覚監修・編『君主制諸国』	
1 . 著者名 Yasushi KOSUGI et al.	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 Beacon Books and Media	5.総ページ数 432
3.書名 Khairudin Aljunied ed. Knowledge, Tradition and Civilization: Essays in Honour of Professor Osman Bakar	
1.著者名 Ken Miichi	4 . 発行年 2022年
2.出版社 Alif.id	5.総ページ数 <sup>437</sup>
3.書名 Ideologi dan Gerakan Politik Islam di Indonesia	

1.著者名	4 . 発行年
山根聡	2022年
2 . 出版社	5 . 総ページ数
臺灣商務印書館	-
O : = 1   伊克巴勒的倫敦	
4 \$20	4 76/- F
1 . 著者名	4 . 発行年
山根聡、長岡慎介、見市建	2023年
2.出版社	5.総ページ数
丸善出版	748
3 . 書名	
3 · 6   1   イスラーム文化事典編集委員会編『イスラーム文化事典』	
・ハン 一へロサス層不必又の間 ・ハノ 一へロデださ	
	l
1 527	4 整行左
1 . 著者名	4 . 発行年
山根聡、長岡慎介	2023年
2.出版社	5.総ページ数
東京大学出版会	292
3.書名	
黒木英充・後藤絵美編『イスラーム信頼学へのいざない(イスラームからつなぐ1)』	
	•
1.著者名	4.発行年
· · · · · · ·   · · · · · · · · · ·	2023年
山化物	20234
2 11115-71	L 7/7 vo 7, 444
2. 出版社	5.総ページ数
NHK文化出版	320
3.書名	
『NHKデータブック 世界の放送2023』	

. ###	4 7V./- b-
1 . 著者名	4.発行年
山根聡	2023年
2. 出版社	5 . 総ページ数
	840
737.5	
3.書名	
3.=ロ     姜尚中・青山 亨ほか編『アジア人物史10 民族解放の夢』	
安国・「日日 アはが調 ノフノハ物人・D に以所が以のを3	
4 ***	4 7%/= F
1. 著者名	4 . 発行年
見市建	2023年
2. 出版社	5.総ページ数
明石書店	404
3 . 書名	
フルル・コージ 日本間 不用・ファットハン 単これをにジジグディ	
	I
1.著者名	4.発行年
ガーズィー・ビン・ムハンマド著、小杉泰・池端蕗子訳	2021年
2 HJUC\$1	Γ <i>b</i> ω ~ ``**
2. 出版社	5.総ページ数
中央公論新社	512
3.書名	
現代人のためのイスラーム入門:クルアーンからその真髄を解き明かす12章	
1.著者名	4 . 発行年
小杉 泰	2021年
2.出版社	5.総ページ数
中東調査会	114
I 카메크스	
3.書名	
『中東研究』第542号	

. ###	4 7V./= h-
1 . 著者名	4.発行年
小杉泰・末近浩太・長岡慎介ほか	2021年
2.出版社	5.総ページ数
2.山城社   ミネルヴァ書房	5 . 総ページ数 392
	332
西尾哲夫・東長靖編著『中東・イスラーム世界への30の扉』	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	J
	1 4 384-Fr
1. 著者名	4 . 発行年
未近浩太	2022年
2.出版社	5.総ページ数
こ・山脈社	264
3 . 書名	
今井宏平編著『教養としての中東政治』	
	J
1 英名2	
1. 著者名	4 . 発行年
末近浩太ほか	2021年
	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	312
3 . 書名	
足立研幾・板木雅彦・白戸圭一・鳥山純子・南野泰義編『プライマリー国際関係学』	
	1
1.著者名	4.発行年
	2021年
2.出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	392
つ 事々	
3 . 書名	
西尾哲夫・東長靖編著『中東・イスラーム世界への30の扉』	
	4

1.著者名	4 . 発行年
山根、聡、前田耕作	2021年
	·
2.出版社	5.総ページ数
2   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	264
게비를통제1	204
3.書名	
新版 アフガニスタン史	
	]
1.著者名	4 . 発行年
│ 山根 聡	2021年
2. 出版社	5.総ページ数
明石書店	416
7) 부모/H	
3.書名	
3 · 音句   前田耕作編著『アフガニスタンを知るための70章』	
門山州川・嗣白「アフルーヘランでかるに切りハリキ』	
	J
1.著者名	4 . 発行年
末近浩太	2020年
2.出版社	5.総ページ数
	5.総ページ数 336
2. 出版社 筑摩書房(ちくま新書)	
筑摩書房(ちくま新書)	
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名	
筑摩書房(ちくま新書)	
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名	
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名	
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名	
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名	
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名 中東政治入門	336
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名 中東政治入門 1.著者名	336
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名 中東政治入門	336
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名 中東政治入門 1.著者名	336
筑摩書房(ちくま新書) 3.書名 中東政治入門 1.著者名	336
筑摩書房(ちくま新書)  3 . 書名 中東政治入門  1 . 著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)	4.発行年 2020年
筑摩書房(ちくま新書)  3 . 書名 中東政治入門  1 . 著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社	336
筑摩書房(ちくま新書)  3 . 書名 中東政治入門  1 . 著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)	4.発行年 2020年
筑摩書房(ちくま新書)  3 .書名 中東政治入門  1 .著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
筑摩書房(ちくま新書)  3 . 書名 中東政治入門  1 . 著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
第摩書房(ちくま新書)  3 . 書名 中東政治入門  1 . 著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社 Routledge	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
第字書房(ちくま新書)  3 . 書名 中東政治入門  1 . 著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社 Routledge  3 . 書名	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
第書房(ちくま新書)  3 .書名 中東政治入門  1 .著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社 Routledge  3 .書名 "Sectarian Fault Lines in the Middle East: Sources of Conflicts or Communal Bonds?," Larbi	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
第摩書房(ちくま新書)  3 .書名 中東政治入門  1 .著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社 Routledge  3 .書名	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
第書房(ちくま新書)  3 .書名 中東政治入門  1 .著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社 Routledge  3 .書名 "Sectarian Fault Lines in the Middle East: Sources of Conflicts or Communal Bonds?," Larbi	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数
第書房(ちくま新書)  3 .書名 中東政治入門  1 .著者名 Kota Suechika (co-authored with Keiko Sakai)  2 . 出版社 Routledge  3 .書名 "Sectarian Fault Lines in the Middle East: Sources of Conflicts or Communal Bonds?," Larbi	336 4.発行年 2020年 5.総ページ数

1 . 著者名	4 . 発行年
末近浩太・遠藤貢編	2020年
2.出版社	5.総ページ数
と・山脈性   岩波書店	272
3 . 書名	
紛争が変える国家(シリーズ「グローバル関係学」第4巻)	
1.著者名	4.発行年
「・有有句   末近浩太編・中村覚監修	2021年
	20217
2.出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	276
っ 事々	
3 . 書名 シリア・レバノン・イラク・イラン(シリーズ「中東政治研究の最前線」第2巻)	
クッテ・レハノフ・1 ファ・1 ファ(ンリース・甲宋政治研九の取削級」第2巻) 	
1 . 著者名	4.発行年
未近浩太	2020年
2.出版社	5.総ページ数
丸善出版	826
3 . 書名	
「ジハード主義の系譜」鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸編集代表『中東・オリエント文化事典』	
	<u> </u>
1 . 著者名	4.発行年
山根 聡	2021年
2.出版社	5.総ページ数
Z : 山放社	3 . 続ハーン数 315
инкцих	""
3 . 書名	
データブック 世界の放送	

1.著者名 見市 建	4 . 発行年 2020年
ᄯ	2020 <del>* </del>
2 . 出版社 日本貿易振興機構アジア経済研究所	5.総ページ数 306
日平見勿派突派得ノンノ証所副九川	000
3 . 書名	
「ジェンダーの政治と大統領選挙 分極化の犠牲となった性暴力排除法案 」川村晃一編『2019 年インドネシアの選挙 深まる社会の分離とジョコウィの再選 』	
1.著者名	4 . 発行年
長岡慎介	2020年
2.出版社	5.総ページ数
詩想舍	130
3.書名	
3. 音句 資本主義の未来と現代イスラーム経済(上)	
	4 7%/- <del> </del>
1.著者名         長岡慎介	4 . 発行年 2020年
2.出版社	5.総ページ数
詩想舍	148
3.書名 資本主義の未来と現代イスラーム経済(下)	
RATE STORY OF THE	
1.著者名 Shinsuke Nagaoka, Zurina Shafii, Ai Kawamura	4 . 発行年 2021年
Similare Nagaona, Zumina Sharin, Ai Nawallura	20214
2.出版社 Kyoto University Islamic Economic Studies Project (KUISES)	5.総ページ数 114
.,,	
3 . 書名	
The Development of Institutional Frameworks of Islamic Economy: A Historical Experience and New Initiatives in Malaysia	

1 . 著者名	4.発行年
Shinsuke Nagaoka, Zeyneb Hafsa Orhan, Harun Sencal	2021年
2 . 出版社	5.総ページ数
Kyoto University Islamic Economic Studies Project (KUISES)	81
3 . 書名	
Islam ve Kapitalizm: Kursesl Bir Bakis Acisi ve Turkiye Perspektifleri	
1. 著者名	4 . 発行年
Shinsuke Nagaoka, Bochra Kammarti, Yana Pak, Mayuko Yamamoto	2021年
2 . 出版社	5.総ページ数
Kyoto University Islamic Economic Studies Project (KUISES)	124
, , , , , ,	
3 . 書名	
Evolution des pratiques socio-economiques islamiques en Asie et en Europe	
1 . 著者名	4.発行年
小杉 泰 (編訳 )	2019年
2 . 出版社	5.総ページ数
岩波書店	702
つ 申々	
3.書名 ムハンマドのことば ハディース	
AND TINCCIA NI 1 - A	
4 ****	4 36/-1-
1 . 著者名	4 . 発行年
未近浩太、酒井啓子(編著)	2019年
2 . 出版社	5 . 総ページ数
晃洋書房	282
3	
3.書名 現代中東の宗派問題・政治社立の「宗派化・と「新冷戦・(シリーブ 転換期の国際政治10)	
現代中東の宗派問題:政治対立の「宗派化」と「新冷戦」(シリーズ 転換期の国際政治10)	

1.著者名	4.発行年
見市建、茅根由佳(編著)	2020年
Solve A State (March )	
2 . 出版社	5.総ページ数
明石書店	176
3 . 書名	
3 · 6 ロ	
フージャルグティア時代の栄育アンア政治	
	•
1.著者名	4 . 発行年
Shinsuke Nagaoka, Mari Adachi, Nur Izzati Binti Mohamad Norzilan	2019年
Simisuke Nagauka, Wari Auachi, Nur izzati Binti Wuhamau Nurzifan	20194
2.出版社	5.総ページ数
Hadhari Center for Islamic Civilizational Studies at Kyoto University	68
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
つ 妻々	
3 . 書名	
New Waves of Islamic Social Welfare in Southeast Asia	

# 〔産業財産権〕

〔その他〕

### 6. 研究組織

_ 6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	見市建	早稲田大学・国際学術院(アジア太平洋研究科)・教授	
研究分担者	(Miichi Ken)		
	(10457749)	(32689)	
	森伸生	拓殖大学・付置研究所・イスラーム研究所長	
研究分担者	(Mori Nobuo)		
	(20349202)	(32638)	
研究分担者	長岡 慎介 (Nagaoka Shinsuke)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授	
	(20611198)	(14301)	

### 6.研究組織(つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	末近 浩太	立命館大学・国際関係学部・教授	
研究分担者	(Suechika Kota)		
	(70434701)	(34315)	
		大阪大学・大学院人文学研究科(外国学専攻、日本学専 攻)・教授	
研究分担者	(Yamane So)		
	(80283836)	(14401)	

# 7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会	開催年
International Conference on Islamic and Halal Economic Studies	2023年~2023年
国際研究集会	開催年
International Colloquium on Islamic and Halal Economic Studies: Towards New	2023年~2023年
Horizons in the Post-Covid Era	
国際研究集会	開催年
Kyoto-Durham International Workshop Islamic Economics and Finance: New Horizons	2019年~2019年
in Islamic Economics and Finance	
国際研究集会	開催年
International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2019)	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
International Workshop on the Impact of Finance in Islamic Tourism	2020年~2020年

### 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------